弥生販売 17

プロフェッショナル 2ユーザー／プロフェッショナル 5ユーザー
ネットワーク

弥生製品をインストールしよう

1

インストール・コンバートマニュアル

こんなときに便利です!

製品のインストール、アンインストール方法を知りたい。

旧製品のデータを移行して利用したい。

弥生

● **OS に影響する操作を行う場合**

インストールやコントロールパネルの操作など、OS に影響する操作を行うには管理者権限が必要となります。これらの操作を行う際に、「ユーザーアカウント制御」に関するメッセージが表示された場合は、メッセージ内容を確認し、[続行]([はい])または[実行]ボタンをクリックします。管理者アカウントのパスワードを要求された場合は、コンピューターの管理者にご確認ください。

● **セットアップ中のエラーについて**

製品のセットアップ中にエラーとなった場合に表示される主なメッセージについては『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」で解説しています。セットアップ作業中にエラーメッセージが表示された場合に参考にしてください。

● **データベースのインストールにかかる時間について**

データベースのインストールには、お使いの環境によって、30 ～ 90 分程度の時間がかかる場合があります。

● **弥生販売プロフェッショナル 5 ユーザーをお使いの場合**

弥生販売プロフェッショナル 5 ユーザーをお使いの場合は、「弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー」を「弥生販売プロフェッショナル 5 ユーザー」に読み替えてください。セットアップ方法については、「弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー」と同様です。

【お断り】

- 本書および弥生販売のヘルプは、Microsoft Windows 7 の環境で作成しています。Microsoft Windows 10/8.1 や Vista では、画面および表記等が異なることがあります。
- 本書の解説では、弥生販売 17 プロフェッショナル 2ユーザーの画面を使用しています。ネットワークの場合は「プロフェッショナル 2 ユーザー」を「ネットワーク」に読み替えてください。

本書は、2016 年 8 月現在の製品仕様により作成しています。
そのため、本書の記載事項や画面などと、製品仕様が異なる場合も生じますことを、あらかじめご了承下さい。
また、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社にご連絡下さい。
弥生製品のサポートは、サポート加入状況によって、サポート･サービスの対象となる機能や環境が異なります。詳細は『あんしん保守サポートガイド』でご確認ください。

『弥生』は、弥生株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server、Internet Explorer、Outlook、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。
本文中、® マークは明記しておりません。

覚え書き(メモ)

次の内容をメモに記入して、大切に管理してください。

	記入欄
弥生製品登録番号 (P3)	□□□□-□□□□-□□□□-□□□□
サーバーの コンピューター名 (P35)	
データベースの sa パスワード ※	

※「データベースの sa パスワード」は、データベースのインストール時に設定したパスワードです。
『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してください。

データベースの sa パスワードは、大切に保管してください

「データベースの sa パスワード」を記入したら、不正アクセスや情報漏えいなどを防止するために、必要のない他の人には知られないように保管してください。

次の順でセットアップの準備を進めてください

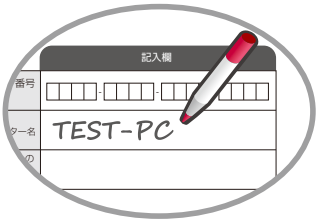
Step1
セットアップ前の
準備→(P3)

Step2
セットアップの流れ
→(P10)

セットアップ前の準備

～　セットアップ前には準備が必要です ～

確認しておくこと



セットアップする前に、製品のインストールに必要な項目や注意事項を確認します。
必要に応じて、確認した内容を忘れないように P2 の「覚え書き（メモ）」に記入していきます。

弥生製品登録番号の確認

弥生製品登録番号は、弥生製品をインストールするときに必要です。弥生製品をインストールする前に確認しておきましょう。

弥生製品登録番号は、以下の方法で確認することができます。確認したら「弥生製品登録番号」を「覚え書き（メモ）」（P2）に転記しましょう。

- 店頭で購入した製品および弊社より発送した製品
  ディスクのケースまたはパッケージに同梱されている文書で確認できます。
- 弊社より発送した製品
  ディスクのケースまたはパッケージに同梱されている文書で確認できます。
- ダウンロード販売で購入した製品
  購入時の電子メールで確認できます。

いずれの方法でも、ユーザー登録が完了している方は、次の手順で表示できるマイページで弥生製品登録番号を確認することができます。
デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして［弥生 マイポータル］を起動します。画面右上の［マイページ］をクリックします。

注意

弥生製品登録番号は、大切に保管しておいてください
弥生製品登録番号は、製品の初回起動時だけでなく、コンピューター移行時や再インストール時、次バージョンのインストール時にも必要です。大切に管理しておいてください。

必要なハードウェアとソフトウェア

弥生販売を使用するために、必要なハードウェアやソフトウェアを確認しておきましょう。

→「必要なハードウェアとソフトウェア」（P26）

弥生販売のシステム構成

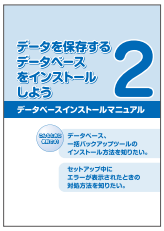
初めて弥生販売を導入する場合には、「サーバー」と「クライアント」のシステム構成を確認しておきましょう。

→「弥生販売のシステム構成」（P32）

データベースに関する注意

弥生製品のデータは、「YAYOI インスタンス」という弥生製品用のデータベースに保存されます。データベースに関する注意事項を確認しておきましょう。

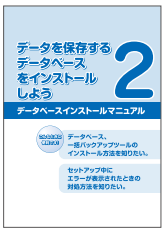
→別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 1 章 セットアップ前の確認」



ネットワーク環境に関する注意

複数台のコンピューターで利用するために、ネットワーク環境で使用する際の注意事項を確認しておきましょう。

→別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 1 章 セットアップ前の確認」



サーバーのコンピューター名の確認

ネットワーク環境で弥生販売を使用するには、サーバーとクライアントの各設定で、サーバー（データベースをインストールしたコンピューター）のコンピューター名を使用します。セットアップ前に確認しておきましょう。

→「コンピューター名の確認」（P35）

ここまで完了したら、「セットアップの流れ」（P10）に進んでください。

目　次

第 1 章　セットアップの流れ　9

1　セットアップの流れ 10
2　初めて弥生販売を導入する場合 11
　2-1　弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合 11
　2-2　弥生販売ネットワークの場合 15
3　旧製品からバージョンアップする場合 19
　3-1　弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合 19
　3-2　弥生販売ネットワークの場合 22

第 2 章　インストール前の確認　25

1　必要なハードウェアとソフトウェア 26
2　弥生販売のシステム構成 32
　2-1　弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのシステム構成 33
　2-2　弥生販売ネットワークのシステム構成 34
3　コンピューター名の確認 35

第 3 章　データベースのインストール　37

1　データベースのインストール 38

第 4 章　弥生販売のインストール　39

1　弥生販売のインストール 40
2　弥生販売の起動 46
3　ライセンス認証と認証解除 47
　3-1　ライセンス認証について 47
　3-2　ライセンス認証 48
　3-3　ライセンス認証の解除 52
4　ユーザー登録＜プロフェッショナル 2 ユーザーのみ＞ 57

第 5 章　データベースへの接続設定　59

1　データベースへの接続設定 60
1-1　データベースへの接続設定の流れ 60
1-2　事業所データとデータベースの接続設定 63
1-3　ログインパスワード(sa パスワード)の設定 67
2　クライアントからサーバーに接続する 70

第 6 章　旧製品からの移行　75

1　旧製品からの移行の流れ 76
2　コンバートの対象 77
2-1　コンバート対象製品 77
2-2　対象となるデータ 77
2-3　環境設定コンバートの対象項目 78
3　データのコンバート 79
3-1　コンバータの起動 79
3-2　データのコンバート 80
4　帳票レイアウトデータのコンバート 84
5　環境設定のコンバート 86
5-1　環境設定のコンバート 86
5-2　複数ユーザーでの使用 91
6　データコンバート後の設定と確認
＜ネットワーク / プロフェッショナルのみ＞ 92

第７章　やよいの見積・納品・請求書からの移行　95

1　移行の対象 96
1-1　移行対象製品 96
1-2　対象となるデータ 96
2　やよいの見積・納品・請求書データの移行 98
2-1　やよいの見積・納品・請求書データの移行手順 98
3　対応付け一覧 108
3-1　自社情報 108
3-2　得意先台帳 109
3-3　商品台帳 109

第８章　プログラムの修復と削除　111

1　弥生販売の修復と削除 112
1-1　弥生販売の修復 112
1-2　弥生販売の削除 114

目次

1

セットアップの流れ

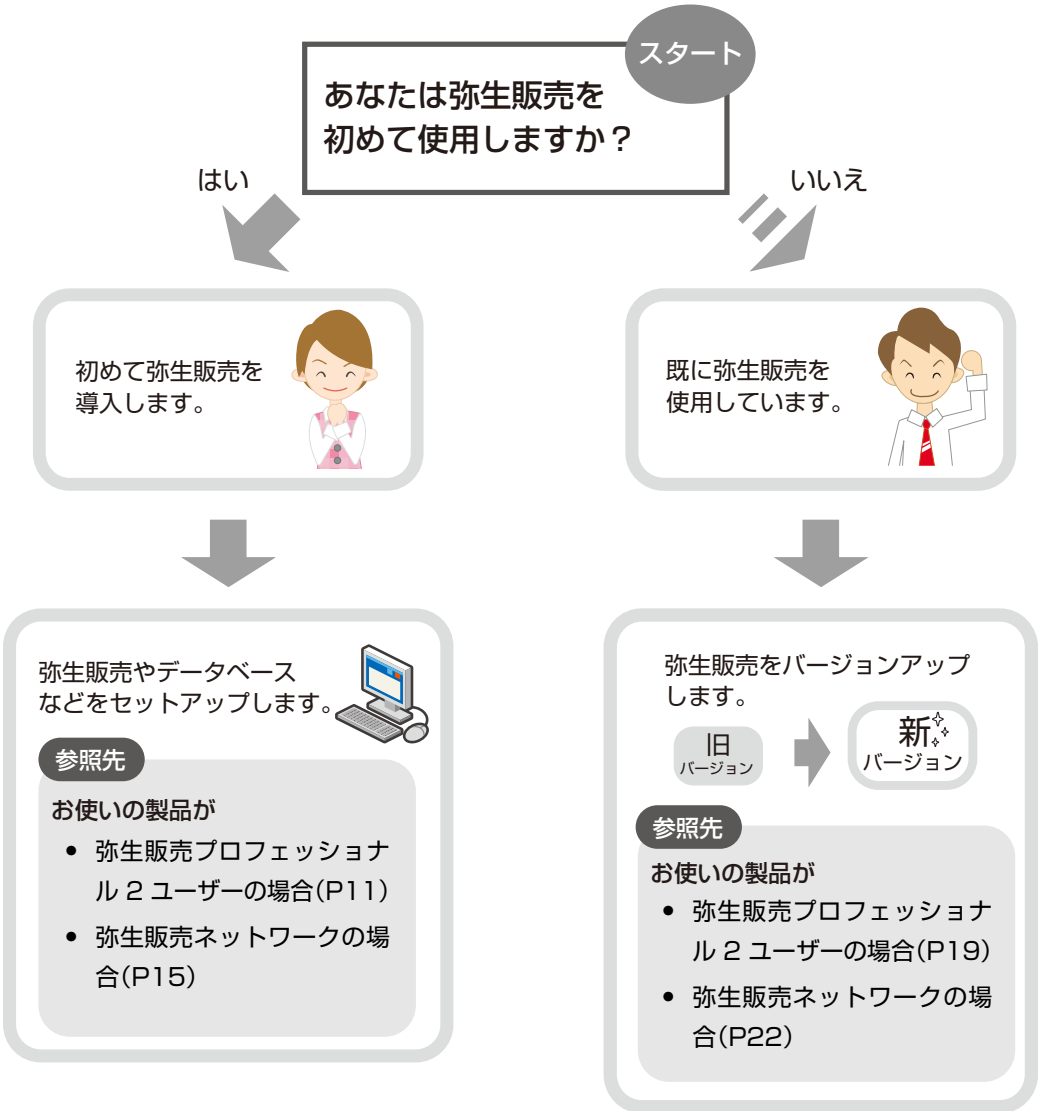
弥生販売 17 を使用するためのセットアップの流れを説明します。

1 セットアップの流れ …… 10
2 初めて弥生販売を導入する場合 …… 11
3 旧製品からバージョンアップする場合 …… 19

1　セットアップの流れ

セットアップ方法の確認

弥生製品は、「初めて弥生販売を導入する場合」と「既に弥生販売を使用されている場合」とでセットアップの流れが異なります。ご自分がどのセットアップ方法に該当するか次のフローで確認しましょう。



2　初めて弥生販売を導入する場合

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーと弥生販売ネットワークで、セットアップ方法が異なります。購入された製品のセットアップ方法を参照してください。

製品名	参照先
弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー	P11
弥生販売ネットワーク	P15

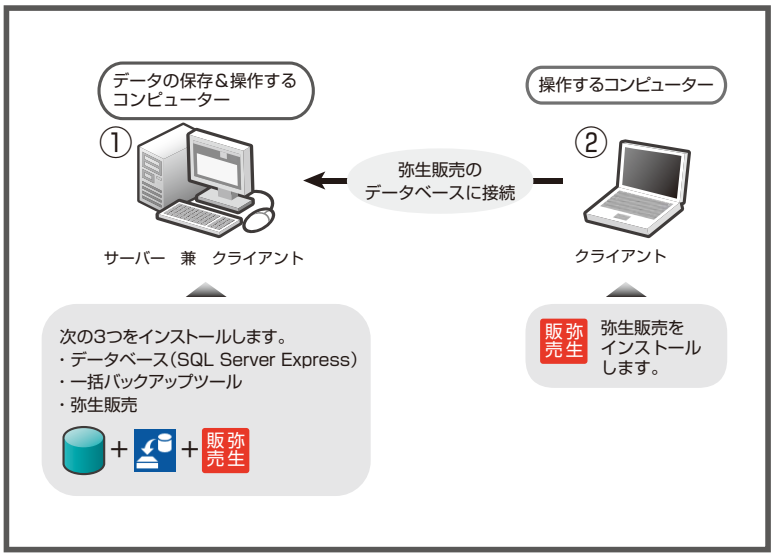
メモ

セットアップ前に知っておきたいこと(サーバーとクライアント)

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー、または弥生販売ネットワークでは、コンピューターを「サーバー」と「クライアント」に役割を分担して、各コンピューターにプログラムをセットアップする必要があります。セットアップ前にサーバーとクライアントや弥生販売のシステム構成について理解しておきましょう。詳細は、「弥生販売のシステム構成」(P32)を参照してください。

2-1　弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合

「データの保存&操作するコンピューター(サーバー 兼 クライアント)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。

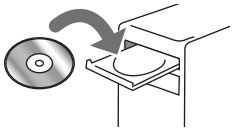


☞ セットアップ手順

① データの保存＆操作するコンピューター（サーバー 兼 クライアント）

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



データベースのインストール

日々の販売データを保存するための、データベース（SQL Server Express）をインストールします。

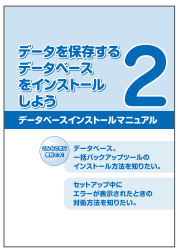
YAYOI インスタンスの確認

データベース（SQL Server Express）の YAYOI インスタンスが起動していることを確認します。

一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。
一括バックアップツールでは、曜日や時刻を指定して自動的にバックアップすることもできます。
操作方法については、ヘルプを参照してください。

詳細は、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第2章 データベースのセットアップ」を参照してください。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

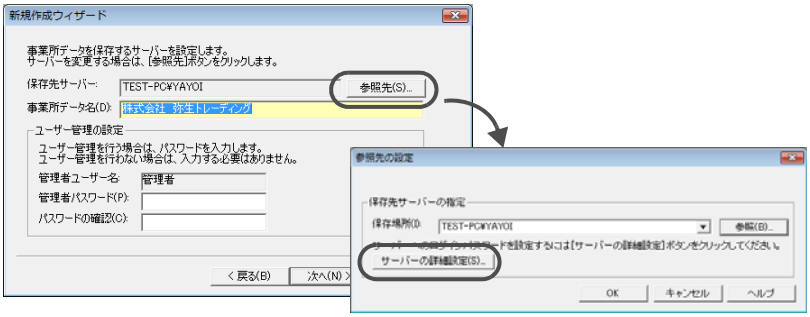
弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）とユーザー登録（P57）（ユーザー登録画面が表示されない場合は、設定不要）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（事業所データとデータベース）→ P60

弥生販売の伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。事業所データの作成では、どのサーバーのデータベースに保存するのかを指定して、事業所データとデータベースの接続設定を行います。

- 事業所データの作成 → P63
  弥生販売を起動して、事業所データを作成します。[保存先サーバー]の設定画面まで進んだら、データベースへの接続設定を行います。

- データベースへのログインパスワード(sa パスワード)を設定 → P67
  ＜[保存先サーバー]の設定画面＞



データベースへの接続設定には、sa パスワードの入力が必要です。sa パスワードとは、データベースのインストール時に指定したパスワードです。

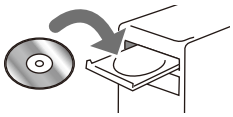
事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して(P46)、[ヘルプ]メニューの[目次とキーワード]をクリックすると表示できます。

② 操作するコンピューター（クライアント）

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

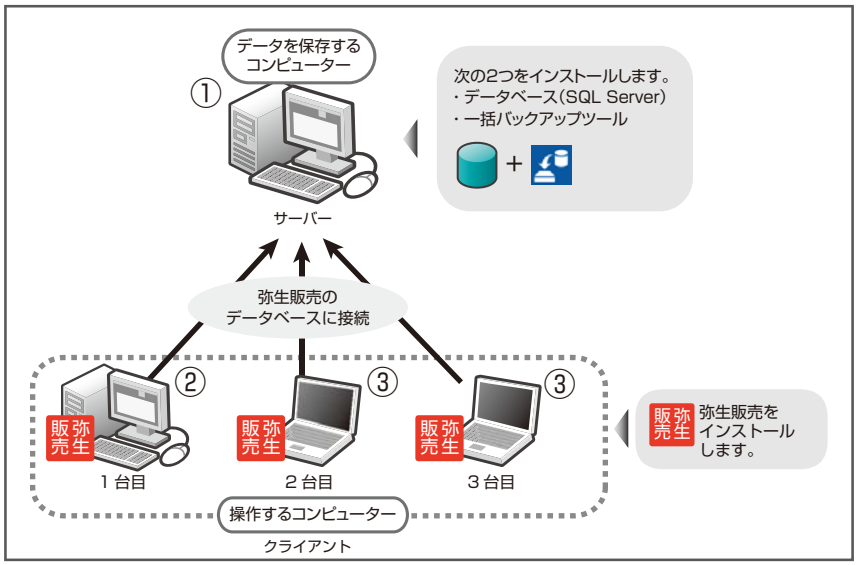
弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース）→ P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

2-2　弥生販売ネットワークの場合

「データを保存するコンピューター(サーバー)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。

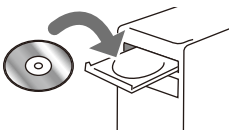


☞ セットアップ手順

① データを保存するコンピューター（サーバー）

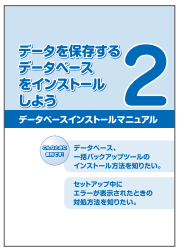
SQL Server の DVD-ROM をセット

SQL Server の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



データベースのインストール

日々の販売データを保存するための、データベース(SQL Server)をインストールします。



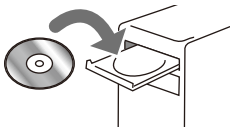
YAYOI インスタンスの確認

データベース(SQL Server)の YAYOI インスタンスが起動していることを確認します。

詳細は、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してください。

弥生販売の DVD-ROM をセット

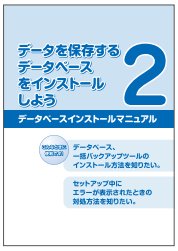
弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。一括バックアップツールでは、曜日や時刻を指定して自動的にバックアップすることもできます。

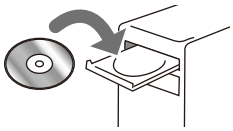
インストール方法については、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してください。操作方法については、ヘルプを参照してください。



② 操作するコンピューター（クライアント）：1 台目

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

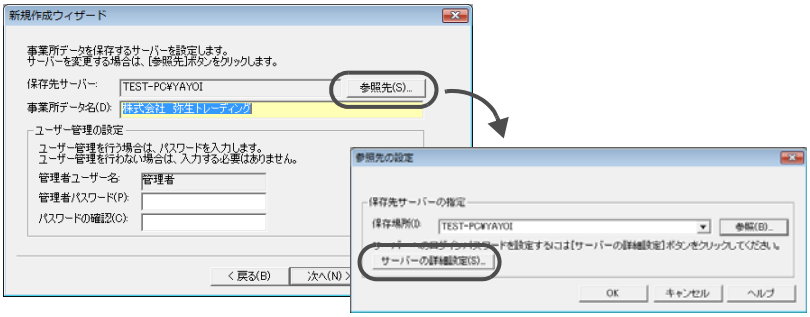
弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（事業所データとデータベース）→ P60

弥生販売の伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。事業所データの作成では、どのサーバーのデータベースに保存するのかを指定して、事業所データとデータベースの接続設定を行います。

- 事業所データの作成 → P63
  弥生販売を起動して、事業所データを作成します。[保存先サーバー]の設定画面まで進んだら、データベースへの接続設定を行います。

- データベースへのログインパスワード(sa パスワード)を設定 → P67
  ＜[保存先サーバー]の設定画面＞



データベースへの接続設定には、sa パスワードの入力が必要です。sa パスワードとは、データベースのインストール時に指定したパスワードです。

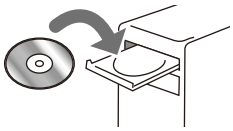
事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して(P46)、[ヘルプ]メニューの[目次とキーワード]をクリックすると表示できます。

③ 操作するコンピューター（クライアント）：2 台目以降

弥生販売の DVD-ROM をセットします。

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース）→ P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

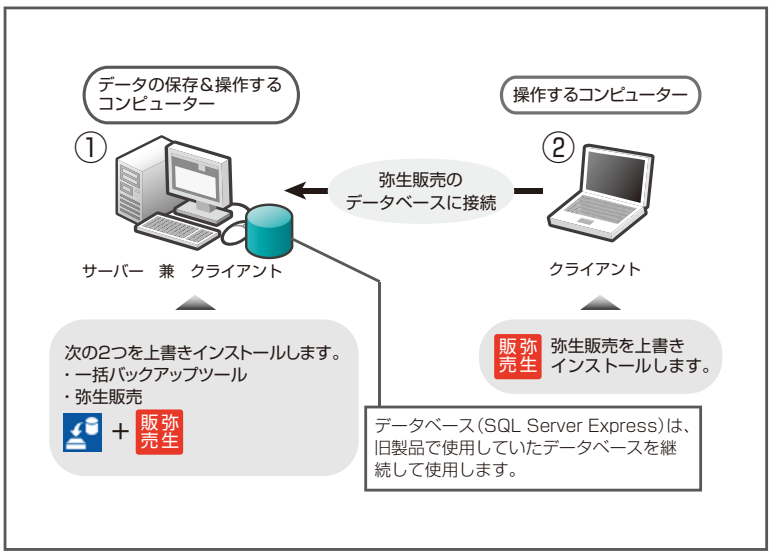
3　旧製品からバージョンアップする場合

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーと弥生販売ネットワークで、セットアップ方法が異なります。購入された製品のセットアップ方法を参照してください。

製品名	参照先
弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー	P19
弥生販売ネットワーク	P22

3-1　弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合

「データの保存＆操作するコンピューター(サーバー 兼 クライアント)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。



☞ セットアップ手順

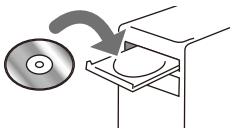
弥生オンラインアップデートから弥生販売 17 をインストールした場合

弥生販売の終了時に表示される[弥生オンラインアップデート]ダイアログから弥生販売 17 をインストールした場合は、DVD-ROM から弥生販売をインストールしていただく必要はありません(「弥生販売のインストール」の手順は不要)。
弥生販売 17 がインストールされているかは、[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]をクリックして表示される[バージョン情報]ダイアログで確認できます。

① データの保存＆操作するコンピューター（サーバー 兼 クライアント）

弥生販売の DVD-ROM をセット

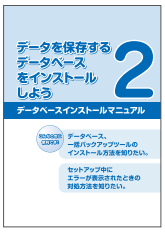
弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。一括バックアップツールでは、曜日や時刻を指定して自動的にバックアップすることもできます。

インストール方法については、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してください。操作方法については、ヘルプを参照してください。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）とユーザー登録（P57）（ユーザー登録画面が表示されない場合は、設定不要）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データのコンバート → P79

旧製品のデータをコンバート（変換）して、弥生販売 17 で使用できるデータに置き換えます。

事業所データとデータベースの接続設定が必要です

コンバートの途中で、コンバートする事業所データとデータベースの接続設定を行う必要があります。詳細は、「事業所データとデータベースの接続設定」（P63）を参照してください。

メモ

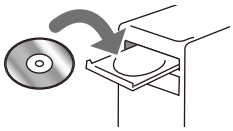
事業所データのコンバートは、サーバーでのみ行います。

事業所データのコンバートは、「データの保存＆操作するコンピューター（サーバー兼クライアント）」でのみ行います。後述の「操作するコンピューター（クライアント）」では、事業所データのコンバートは不要です。

② 操作するコンピューター（クライアント）

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース）→ P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）のコンバート → P84

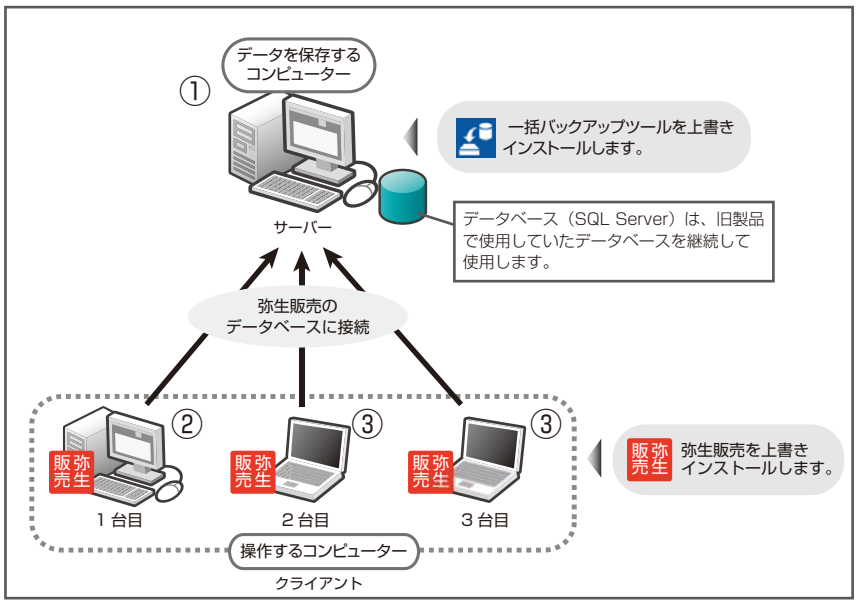
弥生販売 11 以前の帳票レイアウタで編集したオリジナルの帳票をコンバートして、弥生販売 17 で使用できるデータに置き換えます。

環境設定のコンバート → P86

旧製品で調整した印刷設定などをコンバートして、弥生販売 17 で使用できる環境設定に置き換えます。

3-2　弥生販売ネットワークの場合

「データを保存するコンピューター(サーバー)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。

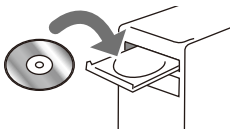


☞ セットアップ手順

① データを保存するコンピューター（サーバー）

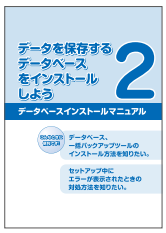
弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。一括バックアップツールでは、曜日や時刻を指定して自動的にバックアップすることもできます。

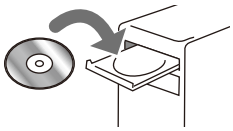


インストール方法については、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してください。操作方法については、ヘルプを参照してください。

② 操作するコンピューター（クライアント）：1 台目

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。

ライセンス認証は必ず行ってください

ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができない、弥生販売ネットワークの事業所データを開けないなど、一部の使用が制限されます。そのため、ライセンス認証は必ず行ってください。

データのコンバート → P79

旧製品のデータをコンバート（変換）して、弥生販売 17 で使用できるデータに置き換えます。

事業所データとデータベースの接続設定が必要です

コンバートの途中で、コンバートする事業所データとデータベースの接続設定を行う必要があります。詳細は、「事業所データとデータベースの接続設定」（P63）を参照してください。

メモ

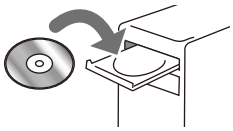
事業所データのコンバートはクライアント（1 台目）でのみ行います

事業所データのコンバートは、「操作するコンピューター（クライアント）：1 台目」でのみ行います。後述の「操作するコンピューター（クライアント）：2 台目以降」では、事業所データのコンバートは不要です。

③ 操作するコンピューター（クライアント）：2 台目以降

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 17 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。

ライセンス認証は必ず行ってください

ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができない、弥生販売ネットワークの事業所データを開けないなど、一部の使用が制限されます。そのため、ライセンス認証は必ず行ってください。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース）→ P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）のコンバート → P84

弥生販売 11 以前の帳票レイアウタで編集したオリジナルの帳票をコンバートして、弥生販売 17 で使用できるデータに置き換えます。

環境設定のコンバート → P86

旧製品で調整した印刷設定などをコンバートして、弥生販売 17 で使用できる環境設定に置き換えます。

2

インストール前の確認

弥生販売 17 を使用するためのシステムや注意事項を説明します。

1 必要なハードウェアとソフトウェア …… 26
2 弥生販売のシステム構成 …… 32
3 コンピューター名の確認 …… 35

1　必要なハードウェアとソフトウェア

弥生販売を使用するには、次のハードウェアやソフトウェアが必要です。

＜弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー版の場合＞

日本語 OS	Microsoft Windows 10/8.1/7/Vista ※Windows RT8.1/7 SP なし /Vista SP なし /Vista SP1 は除く
対応機種 （パソコン本体）	上記、日本語 OS が稼働するパーソナルコンピューター インテル Core2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ
Web ブラウザー	Microsoft Internet Explorer または Microsoft Edge（必須） ※Microsoft Internet Explorerは、各OSでサポートされている最新のバージョンをご利用ください。
メモリ	Windows 10/8.1/7-1GB 以上（32 ビット）/2GB 以上（64 ビット） Windows Vista-1GB 以上
ハードディスク	必須空き容量 300MB 以上（データ領域は別途必要） ※インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要です。
動作に必要なソフトウェア	• 本製品の動作には、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1、VC++2013 ランタイムが必要です。※ インストール済みでない場合は本製品のインストール時に同時にインストールされ、300MB 以上の空き容量が別途必要です。インストール時に、再起動が必要になる場合があります。 • 製品付属の PDF マニュアル等を利用するには Adobe Acrobat Reader DC が必要です。
データベース	Microsoft SQL Server 2012 Express SP2 を本製品のインストーラーからインストールすることができます。 SQL Server 2012 Express SP2 をインストールする際の注意点 • インストールするには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 および、Microsoft .NET Framework 4.0 以降が必要です。付属の SQL Server 2012 Express SP2 のインストールを行う場合は、上記ソフトウェアもインストールされます。 • インストールする際は、インストール先ドライブに 4.2GB 以上の空き容量が必要です。 • TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。 • 旧バージョンのSQL ServerおよびSQL Server互換のMSDEがインストールされている環境にはインストールできません。 • 1 事業所データの領域として最大 10GB まで使用可能です。 一括バックアップツールをインストールする際の注意点 • インストールする際は、インストール先ドライブに20MB以上の空き容量が必要です。 • 一括バックアップツールの動作には、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1、VC++2013 ランタイムが必要です。
インターネット環境	インターネットに接続できる環境が必要です。

その他	• 日本語 OS について Windows 10 と表記されているものは、Windows 10 Home/Pro/Enterprise の略称です。 Windows 8.1 と表記されているものは、Windows 8.1/Pro/Enterprise の略称です。(Windows RT8.1 は含みません) Windows 7 と表記されているものは、Windows 7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium/Starter SP1 以降の略称です。 Windows Vista と表記されているものは、Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/ Home Premium/Home Basic SP2 以降(32 ビット版のみ)の略称です。 インターナショナル版・日本語ランゲージパックは動作対象外となります。 • 64 ビット OS での動作について Windows Vista は 64 ビットには対応しておりません。Windows 10/8.1/7(64 ビット)では、WOW64 の環境で動作します。 • ディスプレイ 本体に接続可能で、上記日本語 OS に対応したディスプレイ 解像度:1024×768 以上必須 /1280×768(WXGA)以上、 High Color(16 ビット)以上を推奨 • マウス / キーボード 上記日本語 OS で使用可能なマウス / キーボード • 日本語入力システム 上記日本語 OS に対応した日本語入力システム ※対応している文字コードは、JIS コードの第 1 水準と第 2 水準です。 その他の文字コードについては、代替文字または、ひらがなでご入力ください。 • ディスクドライブ DVD-ROM ドライブ ※製品を DVD-ROM からインストールする場合に必要です。 • プリンター 上記日本語 OS に対応したプリンター ※インクジェットプリンターについては機種および使用できる専用用紙に一部制限があります。 ※ドットインパクトプリンターの場合は 15 インチ連続用紙が使用できるプリンターが必要です。 • Excel への書き出し機能を利用する場合 集計表などのデータを Excel に書き出す場合は、Microsoft Excel 2007 以降が別途必要です。 • メール送信機能を利用する場合 電子メールソフトを起動する場合は、Microsoft Outlook 2007 以降または、Windows メール、Windows Live メールのいずれかが、通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。 ※Windows 10/8.1 標準メールでは「メール送信」機能が動作しません。 • マルチユーザー機能を利用する場合 1 事業所データを LAN 環境で同時に利用できます。 • 住所録データの書き出し機能を利用する場合 ContactXML 形式(Version1.1a)に対応した製品が別途必要です。 ※ContactXML は、はがき作成・宛名印刷ソフト等で広く利用できる標準データフォーマットです。 • 送り状データの書き出し機能を利用する場合 ヤマト運輸 送り状発行システム/B2Web、佐川急便 送り状発行システム/e飛伝 II、西濃運輸 送り状発行システム / カンガルー・マジックⅡ、日本郵便 送り状印字ソフト / ゆうパックプリント R が別途必要です。 • ネットワーク環境について 有線 LAN での運用を推奨します。 2 台での同時利用には「2 ユーザー」、3 台以上の場合は「ネットワーク」でご利用台数分のライセンスが別途必要です。

＜弥生販売 ネットワークの場合＞

	サーバー	クライアント
日本語 OS	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard/Essentials/Foundation(64 ビット) Windows Server 2012 Standard/ Essentials/Foundation(64 ビット) Windows Server 2008 R2 SP1 Standard/Foundation(64 ビット) Windows Server 2008 SP2 Foundation(64 ビット)/ Standard(32 ビット /64 ビット)	Microsoft Windows 10/8.1/7/Vista ※Windows RT8.1/7 SPなし/Vista SP なし /Vista SP1 は除く
対応機種	上記、日本語 OS とデータベース(Microsoft SQL Server)が稼働するパーソナルコンピューター ※サーバー環境上で弥生製品を動作させる場合は、インテル Core 2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ ※仮想環境でご利用になる場合、技術的なサポートは対象外となります。	上記、日本語 OS が稼働するパーソナルコンピューター インテル Core2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ
Web ブラウザー	Microsoft Internet Explorer または Microsoft Edge(必須) ※Microsoft Internet Explorer は、各 OS でサポートされている最新のバージョンをご利用ください。	
メモリ	1GB 以上(4GB 以上を推奨)	Windows 10/8.1/7-1GB 以上(32 ビット)/2GB 以上(64 ビット) Windows Vista-1GB 以上
ハードディスク	Microsoft SQL Server 2014 Standard SP1 をインストールする場合、6GB以上の空き容量が必要です。(データ領域は別途必要) ※インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要です。	必須空き容量 300MB 以上 ※インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要です。
動作に必要なソフトウェア	• 本製品の動作には、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1、VC++2013 ランタイムが必要です。※ インストール済みでない場合は本製品のインストール時に同時にインストールされ、300MB 以上の空き容量が別途必要です。インストール時に、再起動が必要になる場合があります。 • 製品付属の PDF マニュアル等を利用するには Adobe Acrobat Reader DC が必要です。	

	サーバー	クライアント
データベース	Microsoft SQL Server 2016/2014 SP1/2012 SP2/2008 R2 SP3/2008 SP4 with SQL製品同梱のDVD-ROMからMicrosoft SQL Server 2014 Standard SP1 をインストールすることができます。 for SQL 製品の場合は別途、本製品に対応したSQL Serverが必要です。また、あらかじめ弥生製品用のインスタンスを作成する必要があります。作成方法については、製品マニュアルを必ずご参照ください。 SQL Server 2014 Standard SP1 をインストールする際の注意点 • with SQL 製品に同梱されている Microsoft SQL Server 2014 Standard SP1 は「サーバー/CALライセンス」です。弥生以外のアプリケーションでの使用、テーブルの追加などはできません。また、16 コアを超えるサーバーでのご使用はできません。 • インストールするには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1および、Microsoft .NET Framework 4.0 以降が必要です。Microsoft .NET Framework 4.0 は with SQL 製品同梱の DVD-ROM からインストールすることができます。 • インストールする際は、インストール先ドライブに 6GB 以上の空き容量が必要です。 • TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。 • 旧バージョンの SQL Server および SQL Server 互換の MSDE がインストールされている環境にはインストールできません。 一括バックアップツールをインストールする際の注意点 • インストールする際は、インストール先ドライブに 20MB 以上の空き容量が必要です。 • 一括バックアップツールの動作には、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1、VC++2013 ランタイムが必要です。	TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。
インターネット環境	インターネットに接続できる環境が必要です。	

	サーバー	クライアント
その他	• 日本語 OS について Windows 10と表記されているものは、Windows 10 Home/Pro/Enterpriseの略称です。 Windows 8.1と表記されているものは、Windows 8.1/Pro/Enterpriseの略称です。(Windows RT8.1 は含みません) Windows 7 と表記されているものは、Windows 7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium/Starter SP1 以降の略称です。 Windows Vista と表記されているものは、Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/ Home Premium/Home Basic SP2 以降(32 ビット版のみ)の略称です。 インターナショナル版・日本語ランゲージパックは動作対象外となります。 • 64 ビット OS での動作について Windows 10/8.1/7/Vista(64 ビット)では、WOW64 の環境で動作します。 • ディスプレイ 本体に接続可能で、上記日本語 OS に対応したディスプレイ 解像度:1024×768 以上必須 /1280×768(WXGA)以上、 High Color(16 ビット)以上を推奨 • マウス / キーボード 上記日本語 OS で使用可能なマウス / キーボード • 日本語入力システム 上記日本語 OS に対応した日本語入力システム ※対応している文字コードは、JIS コードの第 1 水準と第 2 水準です。その他の文字コードについては、代替文字または、ひらがなでご入力ください。 • ディスクドライブ DVD-ROM ドライブ ※製品を DVD-ROM からインストールする場合に必要です。 • プリンター 上記日本語 OS に対応したプリンター ※インクジェットプリンターについては機種および使用できる専用用紙に一部制限があります。 ※ドットインパクトプリンターの場合は 15 インチ連続用紙が使用できるプリンターが必要です。 • Excel への書き出し機能を利用する場合 集計表などのデータをExcelに書き出す場合は、Microsoft Excel 2007以降が別途必要です。 • メール送信機能を利用する場合 電子メールソフトを起動する場合は、Microsoft Outlook 2007 以降または、Windows メール、Windows Live メールのいずれかが、通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。 ※Windows 10/8.1 標準メールでは「メール送信」機能が動作しません。 • 住所録データの書き出し機能を利用する場合 ContactXML 形式(Version1.1a)に対応した製品が別途必要です。 ※ContactXML は、はがき作成・宛名印刷ソフト等で広く利用できる標準データフォーマットです。 • 送り状データの書き出し機能を利用する場合 ヤマト運輸 送り状発行システム/B2Web、佐川急便 送り状発行システム/e飛伝II、西濃運輸 送り状発行システム / カンガルー・マジックII、日本郵便 送り状印字ソフト / ゆうパックプリント R が別途必要です。 • ネットワーク環境について 有線 LAN での運用を推奨します。ご利用台数分のライセンスが必要です。	

- 詳細については弥生ホームページをご覧ください。
- 弥生販売を使用するには、標準ユーザー(Users グループ)以上のユーザー権限が必要です。

注意

印刷に関する注意

- 弥生販売で印刷を行った際に以下のような現象が発生した場合、お使いのプリンターまたは、プリンタードライバーが原因の可能性があります。最新のプリンタードライバーを入手してください。詳細はプリンターのマニュアルを参照するか、プリンターメーカーにお問い合わせください。
  - 罫線が欠落する、または罫線がずれる
  - 網かけが途中で途切れる、または塗りつぶされる
  - 特定の箇所だけ印字されずに抜けてしまう
  - 特定の文字列で文字化けが起こる
  - 印字位置がずれて次ページに送られてしまう
- ネットワーク上のプリンターを利用する場合の設定方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。

PDF ファイルの作成には「Microsoft XPS Document Writer」が必要です

印刷ダイアログで「PDF ファイルの作成」を選択して PDF を作成するには、プリンターの一覧に「Microsoft XPS Document Writer」が登録されている必要があります。「Microsoft XPS Document Writer」がない場合は「プリンターの追加」で追加してください。プリンターの追加方法については Windows のヘルプを参照してください。

2　弥生販売のシステム構成

弥生販売プロフェッショナル2ユーザー、弥生販売ネットワークでは、弥生販売の事業所データへ複数台のコンピューターから同時に接続して、伝票入力や帳票出力を行うことができます。

複数台のコンピューターから弥生販売を使用するためには、コンピューターを「サーバー」と「クライアント」に役割を分担して、各コンピューターにプログラムをセットアップする必要があります。どのコンピューターを「サーバー」「クライアント」にするのか弥生販売をインストールする前に決めておきましょう。

サーバーとクライアント

本書では、次の役割をするコンピューターを「サーバー」または「クライアント」と記載しています。

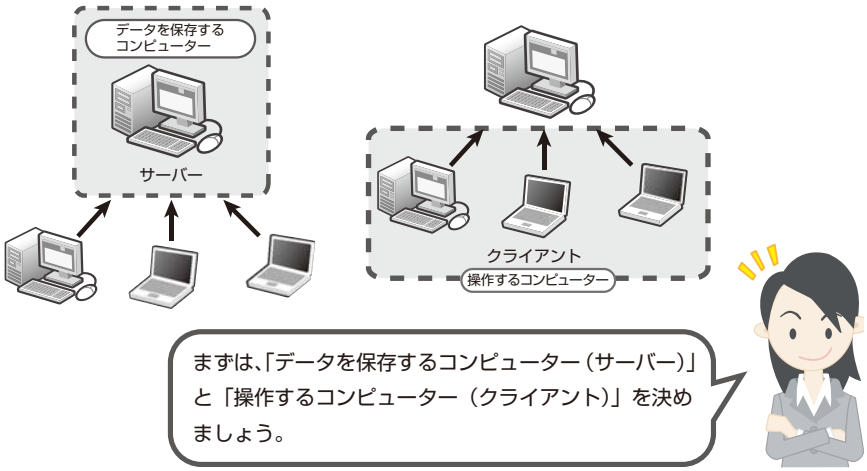
- サーバー

  弥生販売のデータを保存するためのデータベースがインストールされているコンピューターをサーバーといいます。弥生販売のデータを保存する役割をします。サーバーには、スペック（性能）の高いコンピューターを使用することをお勧めします。

  ※ 弥生販売ネットワークの場合は、サーバー用の OS を搭載したコンピューターを使用してください。対応 OS については、「必要なハードウェアとソフトウェア」（P26）を参照してください。

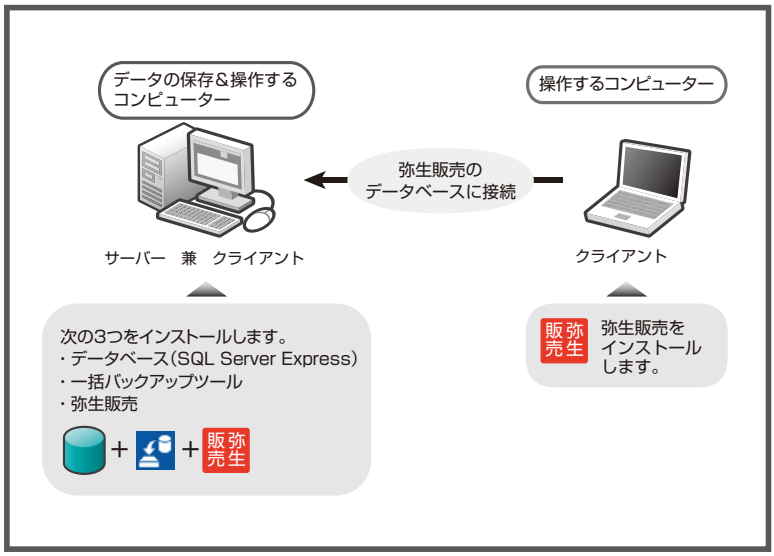
- クライアント

  サーバーのデータベースにアクセスして、弥生販売を操作するコンピューターをクライアントといいます。弥生販売を操作する役割をします



2-1　弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのシステム構成

弥生販売で使用するコンピューターを 2 台決めます。



1 台を「データの保存＆操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)」、残りの 1 台を「操作するコンピューター(クライアント)」として使用します。

● **データの保存＆操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)**

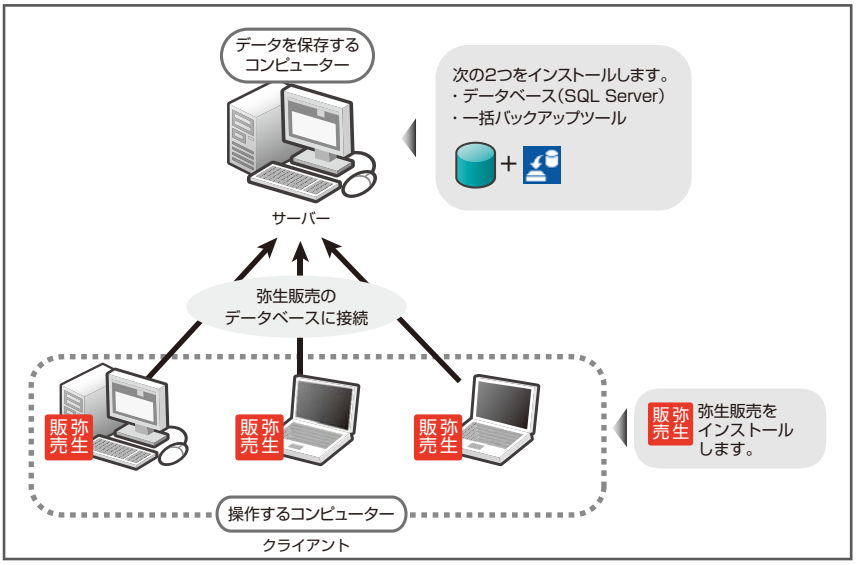
弥生販売の「データを保存するコンピューター(サーバー)」と「弥生製品を操作するコンピューター(クライアント)」の 2 つの役割を担います。
このコンピューターには、「データベース(SQL Server Express)」「一括バックアップツール」「弥生販売」をインストールします。

● **操作するコンピューター(クライアント)**

弥生販売を操作するコンピューターとして使用します。
このコンピューターには、「弥生販売」のみをインストールします。

2-2　弥生販売ネットワークのシステム構成

複数台のクライアントコンピューターから、サーバーに保存されている弥生販売のデータベースに接続します。これにより、複数台のコンピューターから同じデータに対して、伝票入力や帳票出力などの作業を同時に行うことができます。



弥生販売ネットワークでは 1 台を「データを保存するコンピューター(サーバー)」、残りのコンピューターを「操作するコンピューター(クライアント)」として使用します。

● **データを保存するコンピューター(サーバー)**

弥生販売のデータを保存するための専用コンピューター(サーバー)として使用します。このコンピューターには、「データベース(SQL Server)」「一括バックアップツール」をインストールします。

● **操作するコンピューター(クライアント)**

弥生製品を操作するコンピューターとして使用します。
このコンピューターには、「弥生販売」のみをインストールします。

3　コンピューター名の確認

コンピューター名の確認方法について説明します。
弥生製品の各設定時に、コンピューター名の入力または選択が、必要になることがあります。コンピューター名を確認しておきましょう。

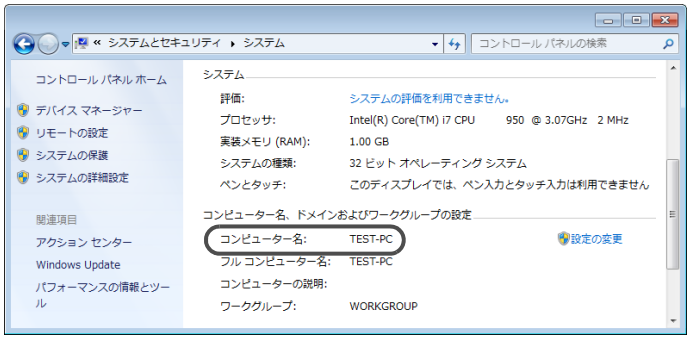
☞ コンピューター名を確認する

1. データベースが保存されているコンピューター(サーバー)を起動します。

2. コントロールパネルを表示します。
Windows 10/8.1 の場合:[スタート]ボタンからすべてのアプリを表示して、[Windows システム ツール]－[コントロール パネル]をクリックします。
Windows Server 2012 R2/2012 の場合:スタート画面からすべてのアプリを表示し、[Windows システム ツール]－[コントロールパネル]をクリックします。
Windows 7/Vista/Windows Server 2008 R2/2008の場合:[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。

3. [システムとセキュリティ](または[システムとメンテナンス]、[パフォーマンスとメンテナンス])をクリックして、[システム]をクリックします。

4. コンピューターの名前を確認します。



表示されたシステム画面の[コンピューター名]に表示されているのが、コンピューター(サーバー)の名前です。

5. 確認したコンピューター(サーバー)の名前を「覚え書き(メモ)」(P2)へ記入しておきます。
例えば、[コンピューター名]に[TEST-PC]と表示されている場合の事業所データが保存されているコンピューター(サーバー)の名前は、「TEST-PC」です。

3

データベースのインストール

データを保存するコンピューター(サーバー)にデータベースをインストールします。

1 データベースのインストール …… 38

1　データベースのインストール

初めて弥生販売を導入する場合は、弥生販売の事業所データを保存するコンピューター(サーバー)に、データベースをインストールする必要があります。

メモ

データベースをインストールするコンピューター

データベースは、次のコンピューターにインストールします。

- 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合
  P33の図「データの保存&操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)」
- 弥生販売ネットワークの場合
  P34 の図「データを保存するコンピューター(サーバー)」

データベースをインストールした後には、「YAYOI インスタンスの確認」「一括バックアップツールのインストール」を行ってください。

データベースのインストール

日々の販売データを保存するための、
データベース(SQL Server)をインストールします。

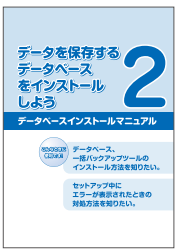
YAYOI インスタンスの確認

データベース(SQL Server)の YAYOI インスタンスが起動していることを確認します。

一括バックアップツールのインストール

データベースのデータを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。

詳細は、別冊『データベースインストールマニュアル』-「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してください。



4

弥生販売のインストール

操作するコンピューター(クライアント)に弥生販売のプログラムをインストールします。

1 弥生販売のインストール …… 40
2 弥生販売の起動 …… 46
3 ライセンス認証と認証解除 …… 47
4 ユーザー登録 <プロフェッショナル 2 ユーザーのみ> …57

1　弥生販売のインストール

弥生販売を操作するコンピューター(クライアント)に「弥生販売 17」をインストールします。

弥生オンラインアップデートから弥生販売 17 をインストールした場合
<弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>

弥生販売の終了時に表示される[弥生オンラインアップデート]ダイアログから弥生販売 17 をインストールした場合は、DVD-ROM から弥生販売をインストールしていただく必要はありません。(「弥生販売のインストール」の作業は不要です。)
弥生販売 17 がインストールされているかは、[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]をクリックして表示される[バージョン情報]ダイアログの[バージョン情報]で確認できます。

新しいコンピューターへの移行について

弥生販売(プログラム)や事業所データを、別のコンピューターに移行する方法については、弊社ホームページの「新しいコンピューターへの移行」を参照してください。
弥生販売の DVD-ROM をお持ちでない方のために、プログラムを入手する方法も説明しています。
www.yayoi-kk.co.jp/ist/dealing/help/ikou.html

インストールする前に

弥生販売をインストールする前に、次の項目を確認してください。

- ハードディスクの空き容量

  ハードディスクの空き容量が 300MB 以上必要(データ領域は別途必要)です。なお、Microsoft .NET Framework をインストールする場合は、別途 300MB 以上の空き容量が必要です。空き容量が足りない場合は、不要なファイルを削除するなどして空き容量を確保してからインストールしてください。

- インストールするユーザーの権限

  弥生販売 17 のインストールには、管理者(Administratorsグループ)権限が必要です。

- 現在、弥生販売を使用している場合

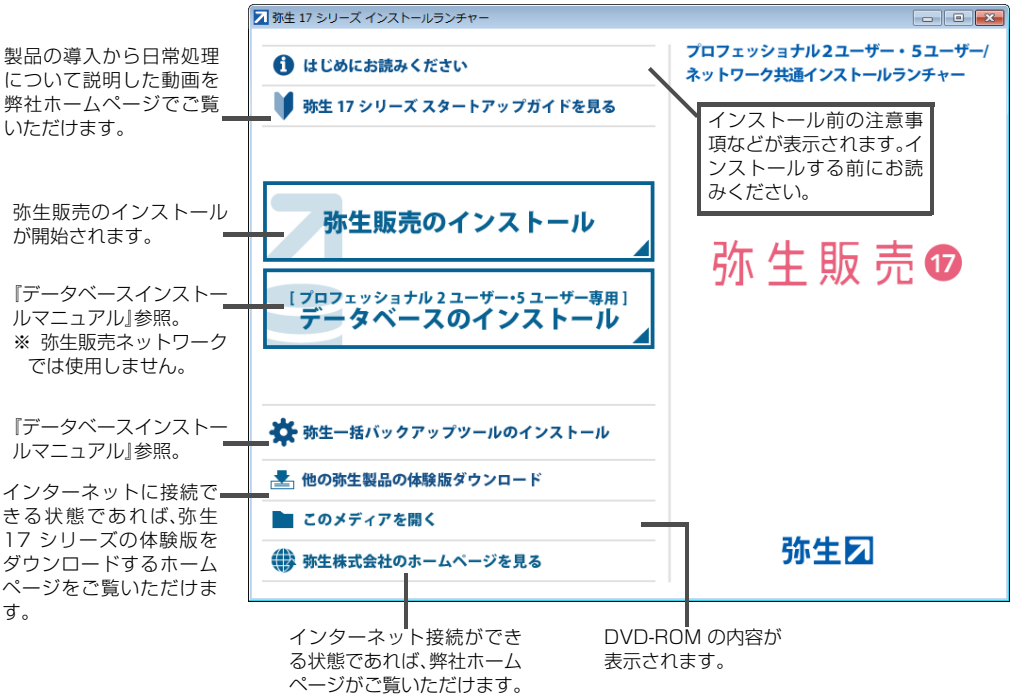
  弥生販売 17 をインストールしても、現在使用中のデータが削除されることはありません。
  ただし、インストール中のトラブルに備えて、インストール前に現在使用しているデータのバックアップファイルを作成してください。バックアップファイルの作成方法については、ご使用の製品のマニュアルを参照してください。

Windows 10/8.1 をご使用の場合はインストール時にインターネットへの接続が必要です

Windows 10/8.1 をご使用の場合、.NET Framework 3.5 SP1 は Windows Update を通じて提供されるため、インストール時にインターネットに接続している必要があります。

弥生 17 シリーズ インストールランチャー

DVD-ROM ドライブに弥生販売 17 の DVD-ROM をセットすると、[弥生 17 シリーズ インストールランチャー]が表示されます。弥生販売はこの画面からインストールします。



メモ

[弥生 17 シリーズ インストールランチャー]が表示されない場合

次の手順で弥生 17 シリーズ インストールランチャーを表示してください。

1. エクスプローラーを表示します。
   Windows 10/8.1 の場合:デスクトップを表示して、タスクバーの[エクスプローラー]ボタンをクリックします。
   Windows 7/Vista の場合:[スタート]ボタンをクリックして、[コンピューター](または[マイコンピュータ])をクリックします。
2. 弥生販売 17 の DVD-ROM をセットしたドライブのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックします。
3. [yayoi17]ファイルをダブルクリックします。

弥生販売のインストール

弥生販売 をインストールする

1. 起動しているすべてのプログラムを終了します。

インストールを始める前に、すべてのプログラムを終了してください。特に、常駐プログラムが動作していると、正しくインストールできない場合があります。

2. DVD-ROM ドライブに弥生販売 17 の DVD-ROM をセットします。

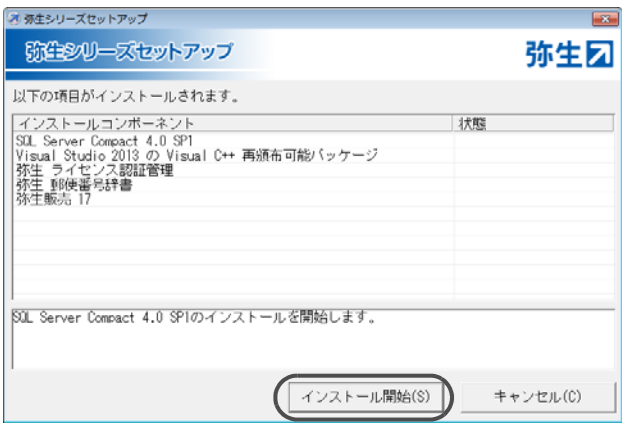
[弥生 17 シリーズ インストールランチャー]が表示されます。

3. [弥生販売のインストール]をクリックします。

コンピューターをチェックして、インストールが必要な項目と、そのインストール状況が表示されます。

4. 表示された[弥生シリーズセットアップ]画面で、[インストール開始]ボタンをクリックします。

表示される項目は、コンピューターの OS や環境により異なります。

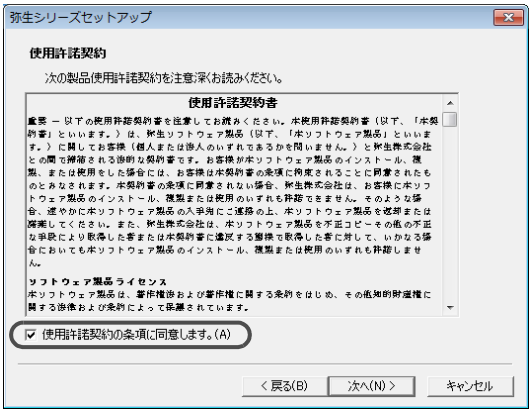


メモ

再起動を促すメッセージが表示された場合

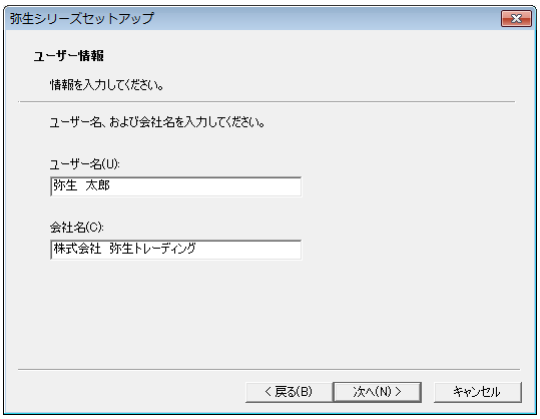
インストールの途中で再起動を促すメッセージが表示された場合は、DVD-ROM を取り出さずに指示に従って再起動し、インストール開始時と同じユーザーで Windows にログインしてください。ログイン後は[弥生シリーズセットアップ]画面が自動的に表示されるので、[インストール開始]ボタンをクリックして、インストールを再開します。

5. 使用許諾契約書を読み、内容に同意いただける場合は、[使用許諾契約の条項に同意します]にチェックを付けて、[次へ]ボタンをクリックします。



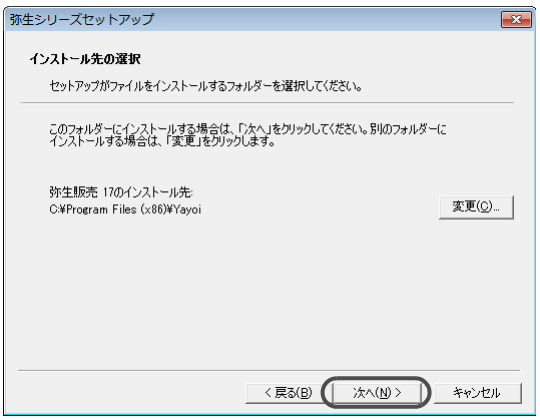
6. ユーザー名と会社名を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

両方の入力が必要です。
ここで入力したユーザー名と会社名はインストールで必要となる情報です。
弥生販売のデータでは使用されません。



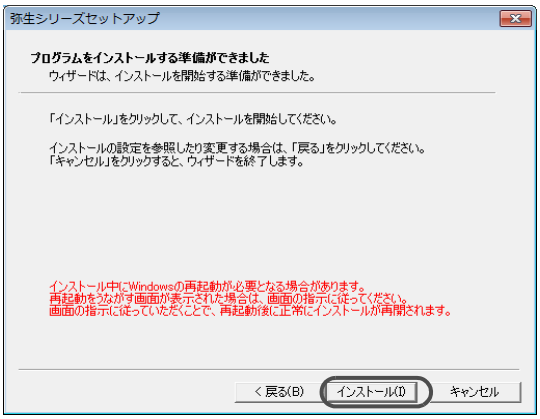
7. 弥生販売をインストールする場所(フォルダー)を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更]ボタンをクリックしてインストールする場所を選択します。

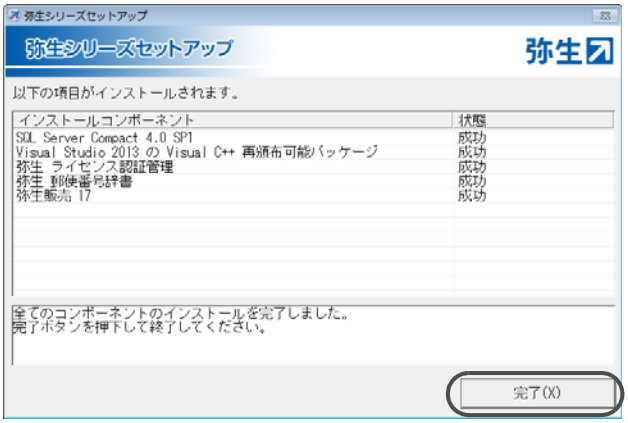


8. [インストール]ボタンをクリックしてインストールを開始します。

.NET Framework 3.5 SP1 をインストールする場合、インストールが完了するまで 30 分程度かかる場合があります。



9. インストールが終了したら、[弥生シリーズセットアップ]画面が表示されるので、[完了]ボタンをクリックします。



10.再起動を促す画面が表示された場合は、必ず再起動してください。

11.DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出します。

DVD-ROM を取り出す前に、[完了]ボタンをクリックして[弥生シリーズセットアップ]画面を必ず閉じてください。

弥生販売の最初の起動時には、ライセンス認証やユーザー登録(ユーザー登録画面が表示されない場合は、設定不要)を行ってください。

→ライセンス認証と認証解除(P47)
→ユーザー登録 <プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>(P57)

2　弥生販売の起動

弥生販売の起動

弥生販売は、弥生 マイポータルから次の手順で起動します。
デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして[弥生 マイポータル]を起動します。[ホーム]メニューの[使いはじめる]－[弥生販売]をクリックします。

メモ

弥生販売を初めて起動した場合

必要に応じて次の画面が表示されます。また、最初は起動に時間がかかることがあります。

- [ライセンス認証]画面(P47)
- ユーザー登録画面＜プロフェッショナル 2 ユーザーのみ＞(P57)

弥生 マイポータル

弥生 マイポータルでは、弥生製品の起動や、よくある質問(FAQ)などのWeb サイトへのアクセスができます。また、接続設定やサポートのお問い合わせなどのサポートツールも利用できます。

セキュリティプログラムの警告メッセージが表示される場合

弥生製品の起動時にセキュリティプログラムの警告メッセージが表示された場合は、弥生製品に関するプログラムの通信を許可してください。
許可するプログラムについては、『はじめにお読みください』の「セキュリティプログラムの通信許可の設定」を参照してください。
『はじめにお読みください』は、「弥生販売 17 ツールとマニュアル」フォルダーにあります。

「ツールとマニュアル」フォルダー

「ツールとマニュアル」フォルダーには、マニュアルやサンプルデータなどを開くためのショートカットが用意されています。このフォルダーは、次の手順で表示します。
デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして[弥生マイポータル]を起動します。[弥生販売]メニューの[サポートツール]－[ツールとマニュアル]をクリックします。

3　ライセンス認証と認証解除

3-1　ライセンス認証について

弥生販売をご使用いただくには、正規の弥生販売であることを確認するためにライセンス認証を行い、弥生販売のライセンスとご使用のコンピューターを結びつける必要があります。また、1 台のコンピューターにつき 1 つのライセンスが必要です。ライセンス認証の手続きは、弥生販売の初回起動時から 30 日以内に行ってください。
弥生販売のインストール後にライセンス認証を行わないと、以下の制限が発生します。

- 初回起動時から 30 日が経過すると、弥生販売を使用できなくなります。
- 起動時に[ライセンス認証]画面が毎回表示されます。
- 複数台での運用を行うことができません。

30 日を経過した場合でも、起動時に表示される[ライセンス認証]画面でライセンス認証を行うことにより、引き続き弥生販売を使用することができますが、ライセンス認証はインストール後すぐに行うようにしてください。

注意

コンピューターを買い換える場合などには認証解除を行ってください

弥生販売をアンインストール(削除)する場合だけでなく、不具合などによりコンピューターをフォーマットする場合や、買い換えなどによりコンピューターを入れ替える場合も事前にライセンス認証の解除が必要です。解除を行ってから製品のアンインストール(削除)やフォーマット、新しいコンピューターへの入れ替えを行ってください。

→ライセンス認証の解除(P52)

3-2　ライセンス認証

ライセンス認証では、ライセンス認証サーバーへの接続のため、インターネットへの接続確認を必ず行います。インターネットを利用していない場合は、接続確認を行った後に表示される画面を経て、インターネットを使わない方法でライセンス認証を行うこともできます。

→インターネットに接続できない場合(P50)

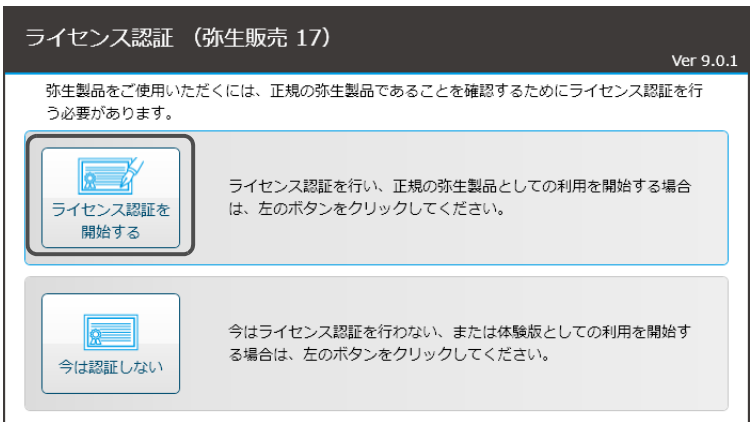
メモ

弥生 ライセンス認証管理でライセンス認証を行う

弥生製品のライセンス認証は、弥生 ライセンス認証管理を次の手順で起動して行うこともできます。弥生 ライセンス認証管理では、複数の弥生製品のライセンス認証を連続的に行うこともできます。
デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして[弥生マイポータル]を起動します。画面右上の歯車のアイコン(設定メニュー)から[弥生 ライセンス認証管理]をクリックします。

ライセンス認証を行う<弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合>

1. [ライセンス認証]画面で[ライセンス認証を開始する]ボタンをクリックします。



弥生製品登録番号の入力画面が表示されます。

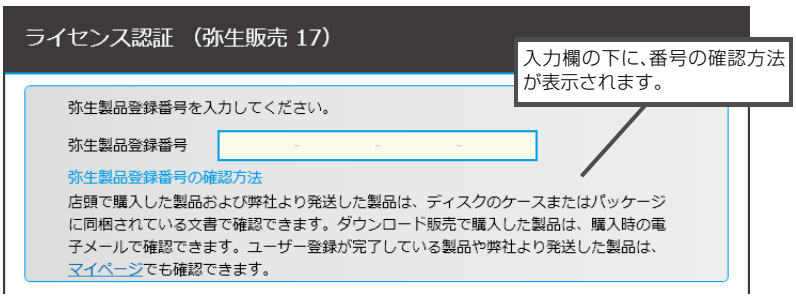
メモ

弥生販売 11 以降がインストールされている場合

弥生販売 11 以降がインストールされている場合は、弥生製品登録番号などの情報を引き継ぎ、入力画面を表示せずにインターネットへの接続を行います。引き継いだ情報でライセンス認証が行えない場合は、改めて入力画面が表示されます。

2. 弥生製品登録番号などを入力します。

番号は、入力欄の下に表示されている「弥生製品登録番号の確認方法」で確認できます。



弥生販売の弥生製品登録番号を入力し、正しい番号であることが確認されると、「製品シリアル番号」の入力画面、「お客様番号」の入力画面、「入手方法の選択」画面のいずれかが表示されます。
入手方法の選択画面が表示された場合は、画面の説明を確認し、入手方法を選択すると選択に応じて、「製品シリアル番号」の入力画面または「お客様番号」の入力画面が表示されます。

メモ

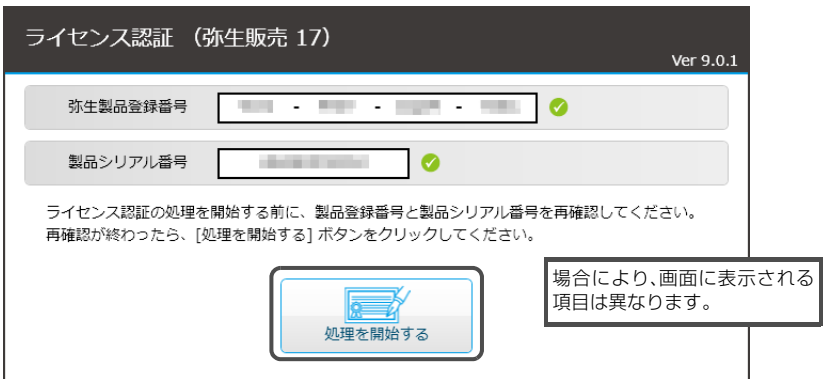
⚠が表示された場合

入力した番号に誤りがあると、入力欄が赤くなり、⚠と説明文が表示されます。この場合は、入力内容を再確認してください。

---

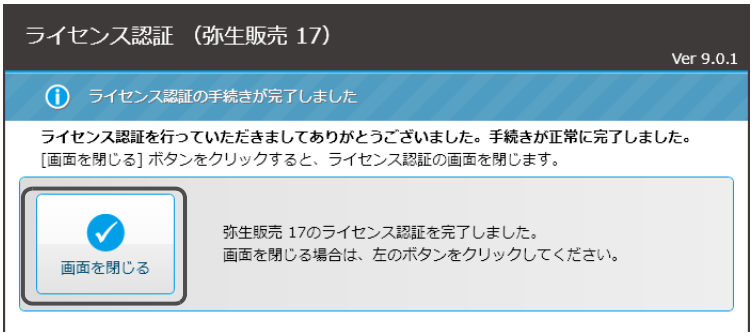
3. ［処理を開始する］ボタンをクリックします。

必要な情報をすべて入力すると［処理を開始する］ボタンが表示されます。
このボタンをクリックすると、インターネットへの接続確認を行った上でライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証が行われます。



4. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

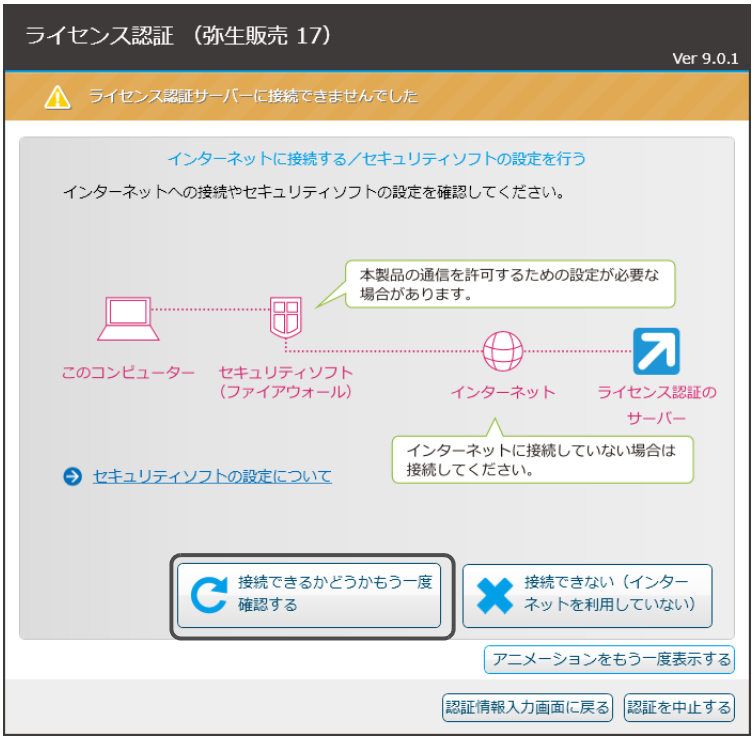
「ライセンス認証の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



メモ

インターネットに接続できない場合

ライセンス認証は、インターネットを通じてライセンス認証サーバーに接続します。サーバーに接続できない場合、[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面が表示されるので、画面の説明に従って、インターネットへの接続やセキュリティソフトの設定の確認を行い、[接続できるかどうかもう 1 度確認する]ボタンをクリックします。

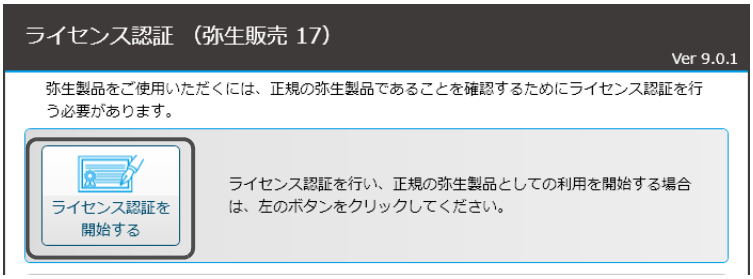


[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合

[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面で[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合、認証方法を選択する画面が表示されます。画面の説明を参考に、認証方法を選択してください。

☞ ライセンス認証を行う＜弥生販売ネットワークの場合＞

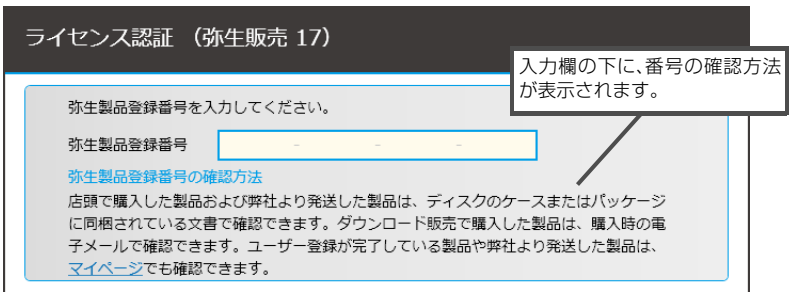
1. [ライセンス認証]画面で[ライセンス認証を開始する]ボタンをクリックします。



弥生製品登録番号の入力画面が表示されます。

2. 弥生製品登録番号を入力します。

番号は、入力欄の下に表示されている「弥生製品登録番号の確認方法」で確認できます。



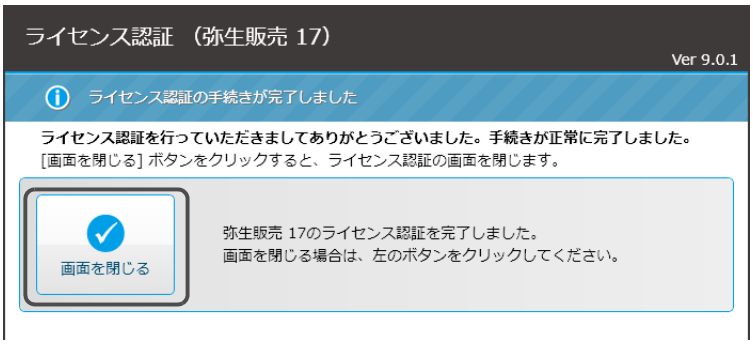
メモ

⚠が表示された場合

入力した番号に誤りがあると、入力欄が赤くなり、⚠と説明文が表示されます。この場合は、入力内容を再確認してください。

3. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

「ライセンス認証の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



3-3　ライセンス認証の解除

弥生販売をアンインストール(削除)する場合には、事前にライセンス認証の解除が必要です。解除を行う前に弥生販売をアンインストール(削除)すると、別のコンピューターで弥生販売を使用できなくなります。

ライセンス認証の解除が必要なケース

ライセンス認証の解除は、以下のような場合に行います。これらの作業を行う前にライセンス認証の解除を行ってください。

- 弥生販売をアンインストール(削除)する場合
- コンピューターを買い換えて、弥生販売を新しいコンピューターにインストールする場合
- 弥生販売を他のコンピューターにインストールし直す場合
- Windows を再インストール(またはリカバリ)する場合
- コンピューターをフォーマット(初期化)する場合

ライセンス認証の解除を行う<弥生販売プロフェッショナル2ユーザーの場合>

メモ

ライセンス認証を解除する前に
ライセンス認証の解除を行うと、弥生販売を使用できなくなります。ライセンス認証の解除を行う前には、事業所データのバックアップなど必要な作業を行ってください。

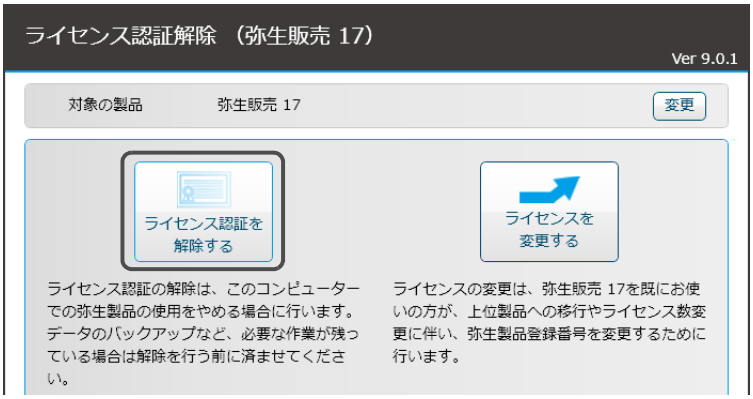
1. **デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックします。**
   [弥生 マイポータル]が起動します。

2. **画面右上の歯車のアイコン(設定メニュー)から[弥生 ライセンス認証管理]をクリックします。**
   [弥生 ライセンス認証管理]が起動します。

3. **[弥生販売 17]ボタン上に「認証済」と表示されていることを確認して、[弥生販売 17]ボタンをクリックします。**
   [弥生販売 17]ボタン上に「未認証」と表示されている場合は、ライセンス認証は解除済みです。以降の手順は必要ありません。

4. [ライセンス認証を解除する]ボタンをクリックします。

ライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証解除が行われます。



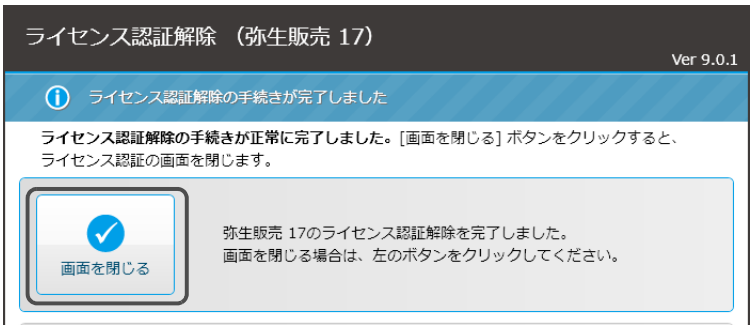
メモ

ライセンスの変更

上位製品への移行やライセンス数の変更に伴い新しい弥生製品登録番号が発行された場合は、この画面で[ライセンスを変更する]ボタンをクリックしてライセンスの変更を行うことができます。
ライセンスの変更では、ライセンス認証の解除と新しい弥生製品登録番号によるライセンス認証を一連の手順で行います。

5. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

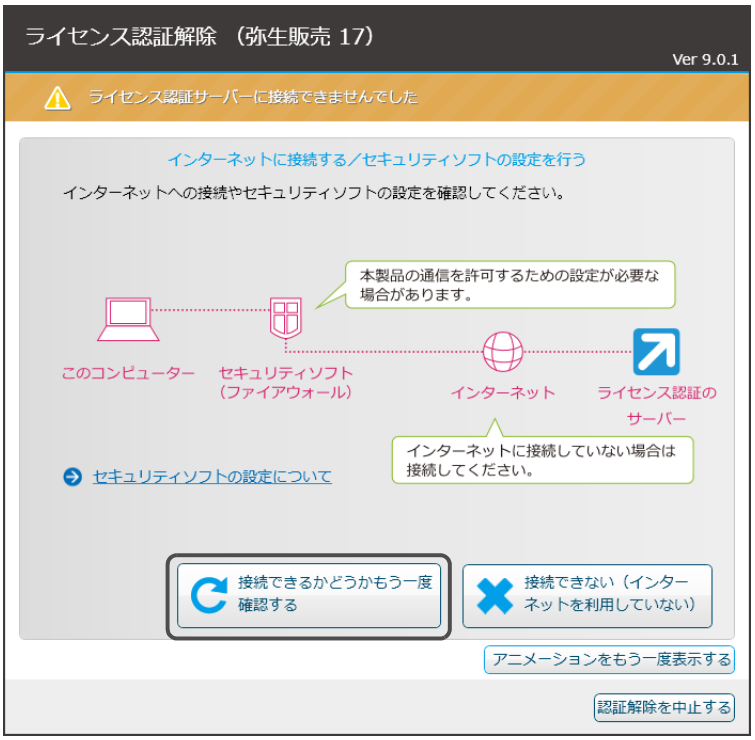
「ライセンス認証解除の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



メモ

インターネットに接続できない場合

ライセンス認証解除は、インターネットを通じてライセンス認証サーバーに接続します。サーバーに接続できない場合、[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面が表示されるので、画面の説明に従って、インターネットへの接続やセキュリティソフトの設定の確認を行い、[接続できるかどうかもう 1 度確認する]ボタンをクリックします。



[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合

[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面で[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合、認証解除方法を選択する画面が表示されます。画面の説明を参考に、認証解除方法を選択してください。

ライセンス認証の解除を行う<弥生販売ネットワークの場合>

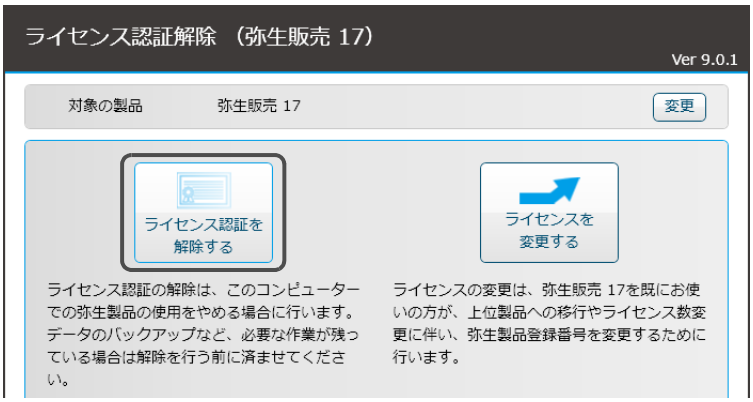
ライセンス認証を解除する前に
ライセンス認証の解除を行うと、弥生販売を使用できなくなります。ライセンス認証の解除を行う前には、事業所データのバックアップなど必要な作業を行ってください。

1. **デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックします。**
   [弥生 マイポータル]が起動します。

2. **画面右上の歯車のアイコン(設定メニュー)から[弥生 ライセンス認証管理]をクリックします。**
   [弥生 ライセンス認証管理]が起動します。

3. **[弥生販売 17]ボタン上に「認証済」と表示されていることを確認して、[弥生販売 17]ボタンをクリックします。**
   [弥生販売 17]ボタン上に「未認証」と表示されている場合は、ライセンス認証を解除済みです。以降の手順は必要ありません。

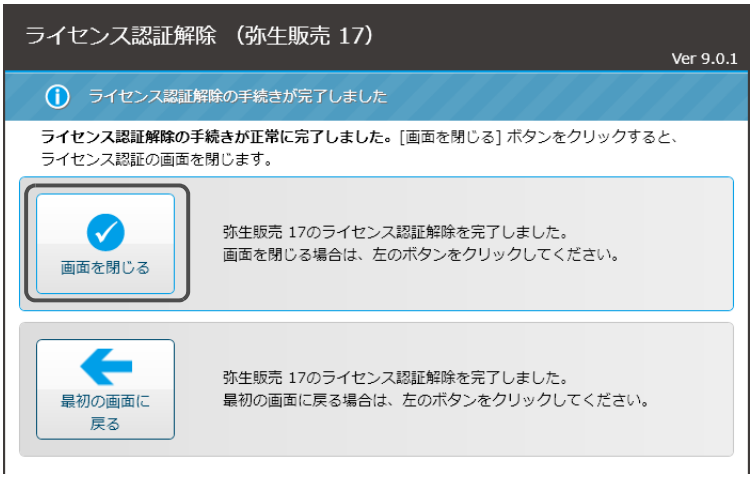
4. **[ライセンス認証を解除する]ボタンをクリックします。**
   ライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証解除が行われます。



ライセンスの変更
ライセンス数の変更に伴い新しい弥生製品登録番号が発行された場合は、この画面で[ライセンスを変更する]ボタンをクリックしてライセンスの変更を行うことができます。
ライセンスの変更では、ライセンス認証の解除と新しい弥生製品登録番号によるライセンス認証を一連の手順で行います。

5. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

「ライセンス認証解除の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



4 ユーザー登録

<プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>

ユーザー登録が行われていない場合、ライセンス認証完了後や弥生販売の起動後にユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録は、インターネットへ接続できる場合はインターネットで、接続できない場合は電話で行うことができます。弥生製品を複数ご利用の場合は、製品ごとにユーザー登録が必要です。

メモ

ユーザー登録が不要な場合

弥生ストアで購入した製品や、あんしん保守サポートによって入手した製品をお使いの場合は、ユーザー登録が必要ありません。

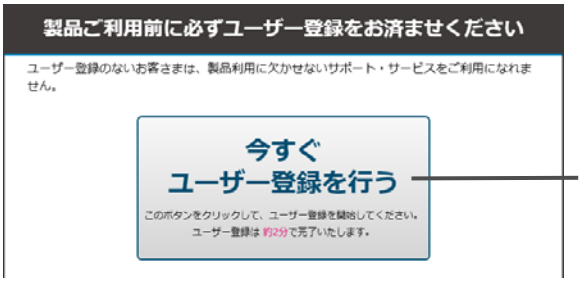
ユーザー登録を行う

1. **弥生販売を起動します(P46)。**

   ユーザー登録画面が表示されます。

   ※ [弥生ライセンス認証]画面が表示された場合は、ライセンス認証の手続きを行ってください(P47)。

2. **画面の指示に従って、インターネットでユーザー登録を行います。**



「今すぐユーザー登録を行う」ボタンをクリックして、インターネットで登録します。

ユーザー登録完了後には、お客様番号などが発行され、「登録完了のお知らせ」が通知されます。

メモ

インターネットに接続していない場合

インターネットに接続していないなどの理由で弥生のサーバーに接続できない場合、ユーザー登録の状態が確認できないため、ユーザー登録画面が一定回数の起動時に表示されます。また、この場合はユーザー登録画面に電話でユーザー登録を行う方法の案内が表示されます。

5

データベースへの接続設定

弥生販売を使用するには、弥生販売の事業所データを保存するデータベースを指定して、事業所データとデータベースを接続する必要があります。事業所データとデータベースの接続設定について説明します。

1 データベースへの接続設定 …… 60
2 クライアントからサーバーに接続する …… 70

1　データベースへの接続設定

1-1　データベースへの接続設定の流れ

データベースと弥生販売をインストールした後には、伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。事業所データの作成時には、データベースの接続設定を行います。接続設定を行うと、指定したデータベースに事業所データが保存されるようになります。

また、複数台のコンピューターからサーバーの事業所データにアクセスして、伝票入力や帳票出力などの作業を行うためには、他のコンピューター(クライアント)からサーバーのデータベースを参照させる設定を行います。

ここでは、次の接続設定の流れを説明します。

- 事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定
- クライアントからサーバーのデータベースに保存されている事業所データを参照する設定

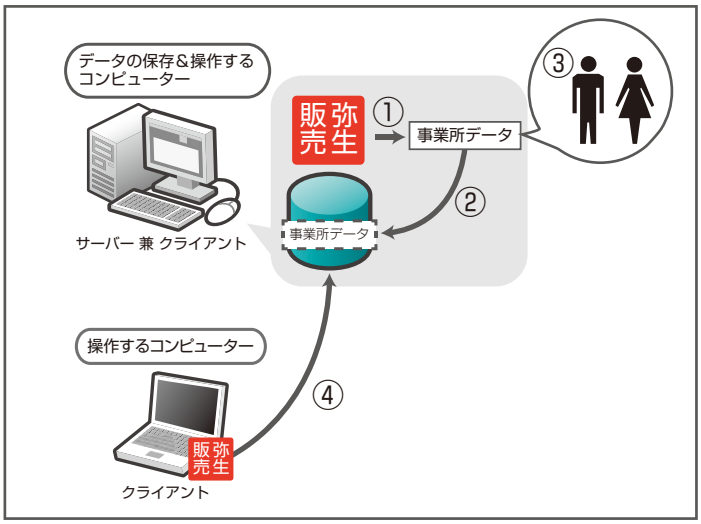
接続設定の流れ

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーと弥生販売ネットワークで、接続設定を行うコンピューターが異なります。購入された製品の接続設定の流れを参照してください。

製品名	参照先
弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー	P60
弥生販売ネットワーク	P62

● **弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合**

次の手順で事業所データとデータベースの接続設定を行います。



データの保存＆操作するコンピューター（サーバー 兼 クライアント）

①事業所データの作成 → P63

次のいずれかの方法で弥生販売から事業所データを作成します。

＜初めて弥生販売を導入する場合＞

- 事業所データを新規作成する

＜旧製品からご利用されている場合＞

- 事業所データを新規作成する
- 旧製品の事業所データをコンバートする
- 事業所データのバックアップデータを復元する

②データベースの選択とパスワードの設定 → P67

事業所データの作成時に、事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定を行います。データベースの接続設定では、データベースのインストール時に設定した sa パスワードの入力が必要です。

データベースのログインパスワード(sa パスワード)の設定し忘れにご注意ください。設定していない場合は、「サーバーにアクセスできませんでした」のエラーメッセージが表示され、弥生販売を使用できません。必ず設定を行ってください。

③事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して(P46)、[ヘルプ] メニューの [目次とキーワード] をクリックすると表示できます。

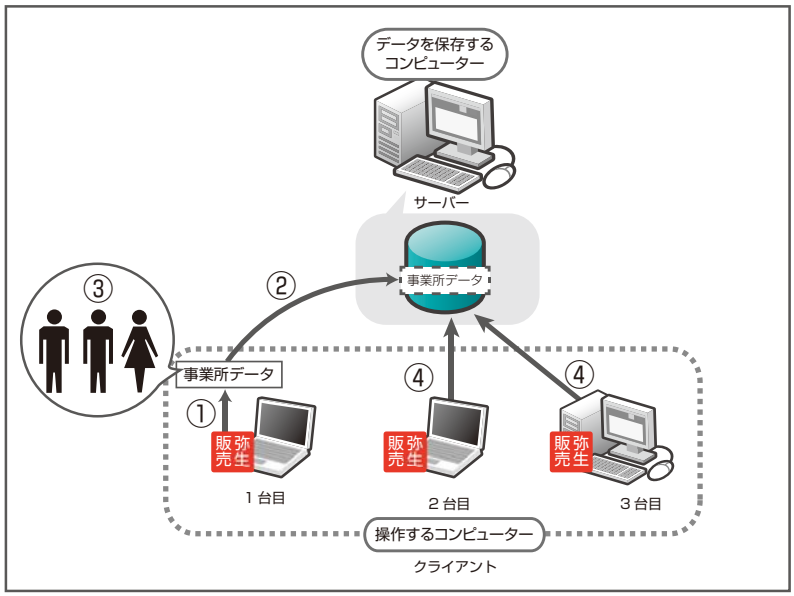
操作するコンピューター（クライアント）

④クライアントからサーバーのデータベースに接続して事業所データを開く → P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを参照します。

● **弥生販売ネットワークの場合**

次の手順で事業所データとデータベースの接続設定を行います。



操作するコンピューター（クライアント）：1 台目
①事業所データの作成 → P63 次のいずれかの方法で弥生販売から事業所データを作成します。 ＜初めて弥生販売を導入する場合＞ • 事業所データを新規作成する ＜旧製品からご利用されている場合＞ • 事業所データを新規作成する • 旧製品の事業所データをコンバートする • 事業所データのバックアップデータを復元する

②データベースの選択とパスワードの設定 → P67

事業所データの作成時に、事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定を行います。データベースの接続設定では、データベースのインストール時に設定した sa パスワードの入力が必要です。

データベースのログインパスワード(sa パスワード)の設定し忘れにご注意ください。設定していない場合は、「サーバーにアクセスできませんでした」のエラーメッセージが表示され、弥生販売を使用できません。必ず設定を行ってください。

③事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して（P46）、［ヘルプ］メニューの［目次とキーワード］をクリックすると表示できます。

操作するコンピューター（クライアント）：2 台目以降

④クライアントからサーバーのデータベースに接続して事業所データを開く → P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを参照します。

1-2　事業所データとデータベースの接続設定

弥生販売を使用するには、始めに弥生販売の伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。
事業所データの作成では、事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定を行います。接続設定を行うと接続したデータベースに事業所データが保存されるようになります。
次のいずれかの方法で、事業所データとデータベースを接続します。

導入ケース	方法
初めて弥生販売を導入する場合	• 事業所データの新規作成（P64）
旧製品からご利用されている場合	• 事業所データの新規作成（P64） • 旧製品から事業所データをコンバート（P65） • 事業所データのバックアップファイルを復元する（P66）

メモ

作業するコンピューター

次のコンピューターで事業所データとデータベースの接続設定を行います。

- 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合
  P33の図「データの保存＆操作するコンピューター（サーバー兼クライアント）」
- 弥生販売ネットワークの場合
  P34 の図「データを保存するコンピューター（サーバー）」

事業所データの新規作成

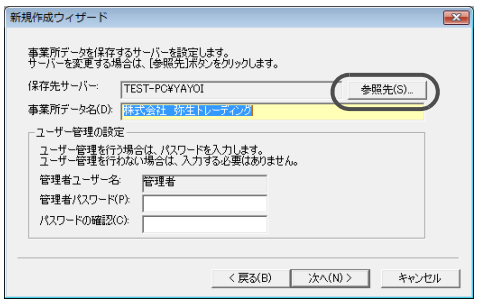
☞ 事業所データを新規作成して、接続設定する

1. 弥生販売を起動します(P46)。

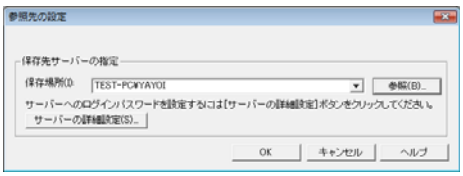
2. クイックナビゲータの[スタート]カテゴリの[データの新規作成]をクリックするか、[ファイル]メニューの[新規作成]をクリックします。
   [新規作成ウィザード]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックして次へ進めます。

   事業所データの新規作成についての詳細は、別冊『操作マニュアル』を参照してください。

3. 表示される画面の指示に従って、[保存先サーバー] の設定画面まで進めます。
   [参照先]ボタンをクリックします。



4. [参照先の設定]ダイアログが表示されます。



   以降の操作は、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)の手順を行ってください。

旧製品から事業所データをコンバート

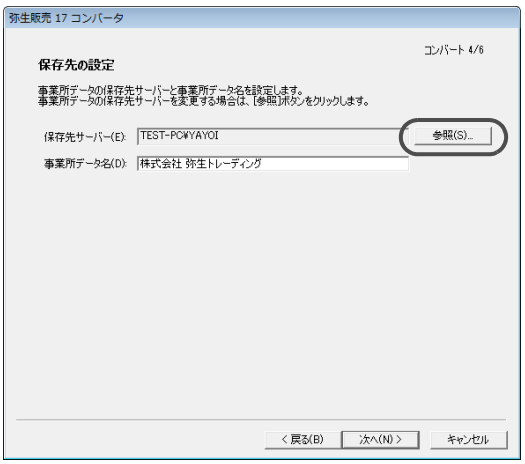
☞ 事業所データをコンバートして、接続設定する

1. **弥生販売が起動している場合は、終了します。**

2. **弥生販売 17 コンバータを起動します。**
   起動方法は、「コンバータの起動」(P79)を参照してください。

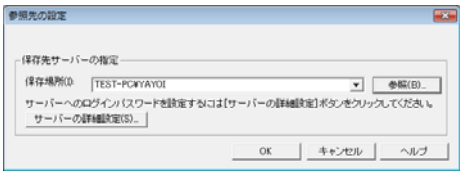
3. **[変更対象の選択]画面で[事業所データを変換する]にチェックが付いていることを確認して、コンバートするデータの種類を選択します。**
   「弥生販売データ」または「弥生販売バックアップファイル」からコンバートする事業所データを選択します。

4. **「弥生販売データ」を選択した場合は[データの選択]画面、「弥生販売バックアップファイル」を選択した場合は[保存先の設定]画面で[参照]ボタンをクリックします。**



事業所データのコンバートの詳細は、「データのコンバート」(P79)を参照してください。

5. **[参照先の設定]ダイアログが表示されます。**



以降の操作は、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)の手順を行ってください。

事業所データのバックアップファイルを復元する

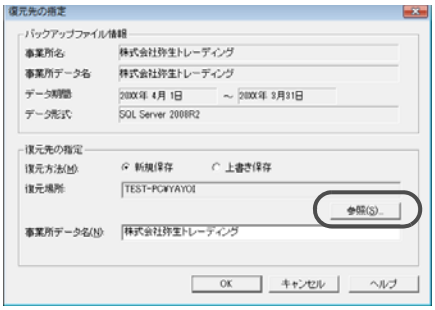
☞ バックアップファイルを復元して、接続設定をする

1. 弥生販売が起動していない場合は、弥生販売を起動します。

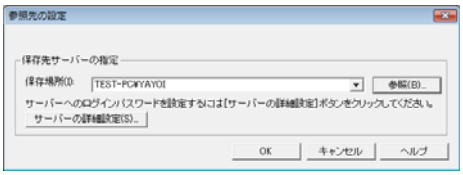
2. [ファイル]メニューの[バックアップファイルの復元]をクリックします。
   [バックアップファイルの復元]ダイアログが表示されます。

3. [参照]ボタンをクリックして、復元するバックアップデータを選択します。
   バックアップファイルの復元方法については、ヘルプ「事業所データのバックアップ」を参照してください。

4. [復元先の指定]画面で[参照]ボタンをクリックします。
   [参照先の設定]ダイアログが表示されます。



5. [参照先の設定]ダイアログが表示されます。



以降の操作は、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)の手順を行ってください。

1-3　ログインパスワード(sa パスワード)の設定

事業所データとデータベースを接続するには、[参照先の設定]ダイアログで、事業所データの保存先となるサーバーのデータベースを指定して、データベースのインストール時に設定した sa パスワードを入力します。

メモ

準備しておきましょう

手順を行う前に、次の内容を準備しておきましょう。
「覚え書き(メモ)」(P2)も参考にしてください。

- サーバーのコンピューター名(P35)
- データベースの sa パスワード
  データベースのインストール時に設定したパスワード
  →『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」

sa パスワードを変更した場合<弥生販売ネットワークのみ>

SQL Server Management Studio で sa パスワードを変更した場合は、ログインパスワードの設定も変更する必要があります。

1. [参照先の設定]ダイアログを表示します。

2. [保存場所]で「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を選択します。

コンピューター名が「TEST-PC」の場合、[保存場所]は「TEST-PC¥YAYOI」になります。
選択するサーバーが表示されない場合は[参照]ボタンをクリックして、[サーバーの選択]ダイアログで選択します。

「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を選択します。選択できない場合は、[参照]ボタンをクリックします。

メモ

選択するサーバーが表示されない場合

[サーバーの選択]ダイアログの一覧にサーバーが表示されない場合は、サーバーにデータベースがインストールされていることをネットワーク管理者に確認してください。

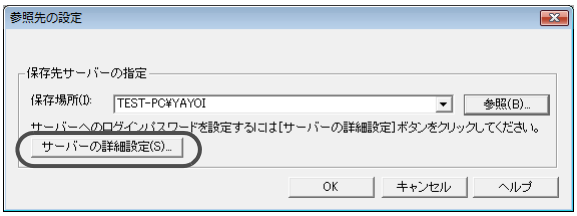
- インストールされている場合
  [参照先の設定]ダイアログの[保存場所]に**「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を直接入力してください。**
- インストールされていない場合
  サーバーにデータベースをインストールしてください。

サーバーのコンピューター名の確認方法

サーバーのコンピューター名を確認する方法については、「コンピューター名の確認」(P35)を参照してください。

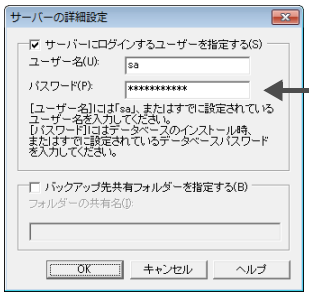
3. [サーバーの詳細設定]ボタンをクリックします。

[サーバーの詳細設定]ダイアログが表示されます。



4. データベースへのログインユーザーを設定します。
[サーバーにログインするユーザーを指定する]にチェックを付けて、指定するユーザー名と、ログイン時のパスワードを入力します。

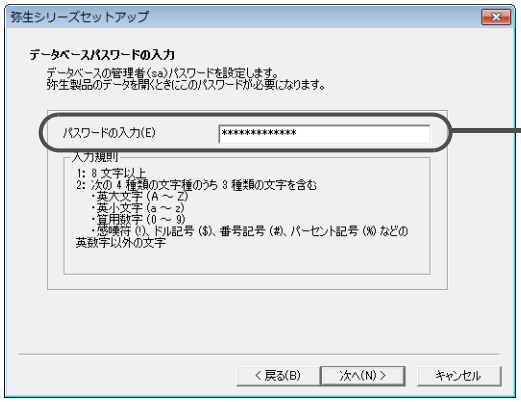
[ユーザー名]に「sa」、または既に設定されているユーザー名を入力し、データベースのインストール時に指定した sa パスワード、または既に設定されているデータベースパスワードを入力します。



重要

下記の画面で設定したパスワードをここに入力します。

データベースのインストールで
データベースの管理者パスワード(sa パスワード)を設定する画面
→『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」
※「覚え書き(メモ)」(P2)も参考にしてください。



5. 設定が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

6. [参照先の設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。

引き続き、事業所データを設定してください。

メモ

エラーメッセージが表示された場合

[参照先の設定]で正しい[保存場所]を入力し、[サーバーの詳細設定]で正しい[パスワード]を入力したにもかかわらず、「サーバーにアクセスできませんでした。」というメッセージが表示された場合は、『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。

2　クライアントからサーバーに接続する

事業所データとデータベースの接続設定(P63)が終了した後には、操作するコンピューター(クライアント)から、サーバーのデータベースに保存された事業所データを参照させる設定を行います。

サーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開くと、複数台のコンピューターから同時に事業所データを操作できるようになります。

メモ

準備しておきましょう

手順を行う前に、次の内容を準備しておきましょう。
「覚え書き(メモ)」(P2)も参考にしてください。

- サーバーのコンピューター名(P35)
- データベースの sa パスワード
  データベースのインストール時に設定したパスワード
  →『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」

sa パスワードを変更した場合<弥生販売ネットワークのみ>

SQL Server Management Studio で sa パスワードを変更した場合は、ログインパスワードの設定も変更する必要があります。

☞ クライアントからサーバーのデータベースに接続して、事業所データを開く

1. 弥生販売を操作するコンピューターを起動します。

2. 弥生販売を起動します(P46)。

※ サーバーにアクセスできない(設定されていない)などのエラーメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。

3. [ファイル]メニューから[開く]をクリックします。

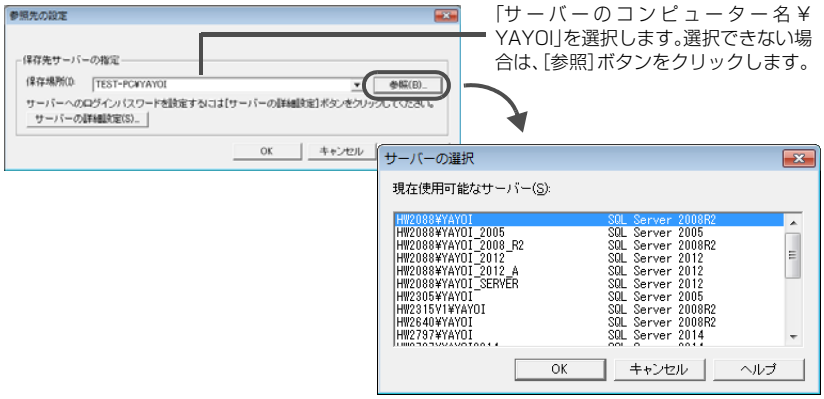
4. [事業所データの選択]ダイアログの[参照先]ボタンをクリックします。

[参照先の設定]ダイアログが表示されます。

※ サーバーにアクセスできない(設定されていない)などのエラーメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。

5. [保存場所]で「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を選択します。

サーバーのコンピューター名は、「コンピューター名の確認」(P35)でメモをしておいたコンピューターの名前です。
例えば、メモをしておいたコンピューターの名前が「TEST-PC」の場合、[保存場所]は「TEST-PC¥YAYOI」になります。
選択するサーバーが表示されない場合は[参照]ボタンをクリックして、[サーバーの選択]ダイアログで選択します。



「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を選択します。選択できない場合は、[参照]ボタンをクリックします。

メモ

選択するサーバーが表示されない場合

[サーバーの選択]ダイアログの一覧にサーバーが表示されない場合は、サーバーにデータベースがインストールされていることをネットワーク管理者に確認してください。

- インストールされている場合
  [参照先の設定]ダイアログの[保存場所]に**「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を直接入力してください。**
- インストールされていない場合
  サーバーにデータベースをインストールしてください。

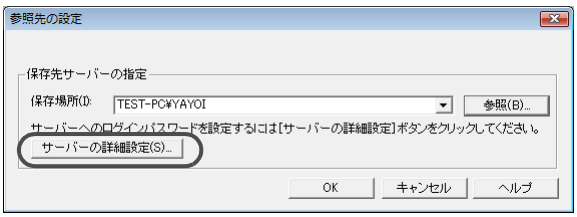
サーバーのコンピューター名の確認方法

サーバーのコンピューター名を確認する方法については、「コンピューター名の確認」(P35)を参照してください。

---

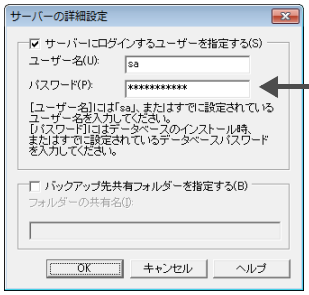
6. [サーバーの詳細設定]ボタンをクリックします。

[サーバーの詳細設定]ダイアログが表示されます。



7. データベースへのログインユーザーを設定します。
[サーバーにログインするユーザーを指定する]にチェックを付けて、指定するユーザー名と、ログイン時のパスワードを入力します。

[ユーザー名]に「sa」、または既に設定されているユーザー名を入力し、データベースのインストール時に指定した sa パスワード、または既に設定されているデータベースパスワードを入力します。



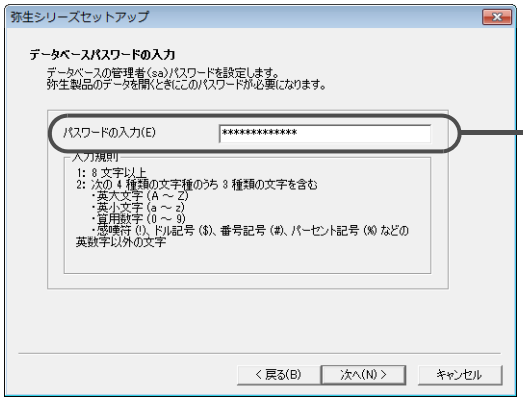
重要

下記の画面で設定したパスワードをここに入力します。

データベースのインストールで
データベースの管理者パスワード(sa パスワード)を設定する画面

→『データベースインストールマニュアル』－「第 2 章 データベースのセットアップ」

※「覚え書き(メモ)(P2)」も参考にしてください。



8. 設定が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

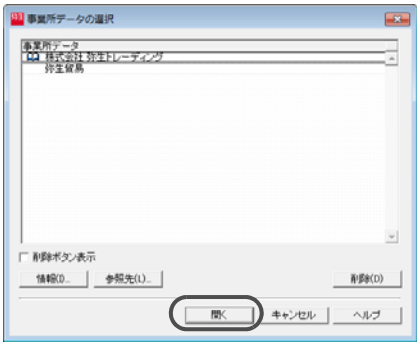
9. [参照先の設定]ダイアログの[OK]ボタンをクリックします。

注意

エラーメッセージが表示された場合について

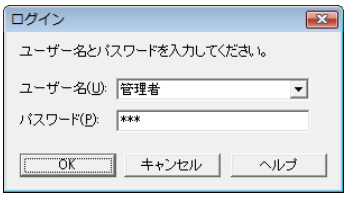
「サーバーにアクセスできませんでした。」というエラーメッセージが表示された場合は、いくつかの原因が考えられます。対処方法については、『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照してください。

10.事業所データを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



11.[ログイン]ダイアログが表示されます。ユーザー名を選択し、パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

管理者にパスワードを設定していない、または、他のユーザーを登録していない場合は、[ログイン]ダイアログは表示されません。



6

旧製品からの移行

旧製品の弥生販売の事業所データを弥生販売 17 で使用するには、データをコンバート(変換)する必要があります。

この章では、旧製品の弥生販売のデータをコンバートする手順について説明します。

1 旧製品からの移行の流れ …… 76
2 コンバートの対象 …… 77
3 データのコンバート …… 79
4 帳票レイアウトデータのコンバート …… 84
5 環境設定のコンバート …… 86
6 データコンバート後の設定と確認 <ネットワーク / プロフェッショナルのみ> … 92

1　旧製品からの移行の流れ

データの保存＆操作するコンピューター 1 台目(サーバー)	操作するコンピューター 2 台目以降(クライアント)
弥生販売のセットアップ → P40 旧製品からの移行を実行する前に、あらかじめ弥生販売のインストールを行っておきます。セットアップ方法については、セットアップの流れにそって行ってください。	
データのコンバート（変換）→ P79 旧製品のデータ(事業所データ、帳票レイアウトデータ、環境設定)を弥生販売 17 の形式にコンバート(変換)します。データのコンバートの流れは次のとおりです。 1. コンバート前の確認 → P77 コンバート対象製品の確認を行います。 2. 旧製品のデータを準備する 3. データのコンバートを行う → P79 手順に従って、データのコンバートを行います。	帳票レイアウトデータのコンバート → P84 旧製品での帳票レイアウトのデータを弥生販売 17 の形式にコンバートします。 環境設定のコンバート → P86 項目設定や印刷での設定など、旧製品での設定内容を弥生販売 17 に移行します。

2　コンバートの対象

2-1　コンバート対象製品

弥生販売 16、15、14、13、12、11、10 の下記の製品で使用していたデータをコンバートすることができます。

- 弥生販売ネットワーク
- 弥生販売プロフェッショナル
- 弥生販売スタンダード

2-2　対象となるデータ

コンバートの対象となるデータの種類は以下のとおりです。

- 事業所データ（弥生販売データ、弥生販売バックアップファイル）
- 帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）
- 環境設定

注意

事業所データのバックアップファイルをコンバートする場合

バックアップファイルを使用してコンバートを行う場合は、次のことに注意してください。

- 旧製品で最新の事業所データのバックアップファイルを作成します。
- コンバートを行う最新のバックアップファイルの保存場所を確認しておきます。P81 手順 5 で、確認した保存場所を指定します。
- バックアップファイルを USB メモリなどの外部メディアに保存している場合は、対象となるメディアをあらかじめコンピューターにセットしてください。

帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）と環境設定のコンバート

帳票レイアウトデータや環境設定のコンバートを行わないと、旧製品では正常に印刷できた伝票などが、弥生販売 17 で印刷すると印刷位置がずれることがあります。
なお、帳票レイアウトデータのコンバートは、帳票レイアウタ（弥生販売 11 形式）を使用していた場合に行います。

複数のコンピューターで帳票レイアウトデータを使用する場合

帳票レイアウトデータは、レイアウトデータを作成、編集したコンピューターに保存されます。異なるレイアウトデータが複数のコンピューターに保存されている場合は、インポート、エクスポート機能を使用してレイアウトデータを 1 台のコンピューターにまとめてからコンバートしてください。

また、コンバートしたレイアウトデータを他のコンピューターで使用する場合は、次の手順でレイアウトデータをコピーします。

1. レイアウトデータのコンバートを実行したコンピューターで、コンバートしたレイアウトデータをバックアップします。
2. 弥生販売を使用するすべてのコンピューターで、手順 1 で作成したバックアップファイルを復元します。
3. 画像を配置したレイアウトデータがある場合は、画像をコピーします。

帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)のインポートやエクスポート、バックアップと復元については、ヘルプや帳票レイアウタのヘルプを参照してください。

帳票レイアウトデータを別のコンピューターの弥生販売 17 へコンバートする場合

旧製品の帳票レイアウトデータを別のコンピューターの弥生販売 17 にコンバートする場合は、移行元のコンピューターで弥生販売 17 にコンバートして帳票レイアウトデータのバックアップを行い、移行先のコンピューターでバックアップファイルを復元します。

2-3 環境設定コンバートの対象項目

環境設定コンバートで移行される設定内容は次のとおりです。

環境設定	[環境設定] ダイアログで設定した情報
印刷の設定	[印刷] ダイアログ、印刷の [書式の設定] ダイアログで設定した情報
項目設定	各種伝票の [項目設定] ダイアログで設定した情報
各台帳参照の表示順 台帳リストの表示順	台帳参照ダイアログでの表示順の設定情報、 台帳リストでの表示順の設定情報
画面のサイズ、位置	弥生販売のウィンドウのサイズや表示位置

弥生販売を複数のユーザーで使用している場合

環境設定の設定内容は、Windows のログオンユーザーと弥生販売のユーザー名に依存します。

お使いのコンピューターや弥生販売を複数のユーザーで使用している場合は、「複数ユーザーでの使用」(P91)を参照してください。

弥生販売を複数のコンピューターで使用している場合

弥生販売を複数のコンピューターで使用している場合は、すべてのコンピューターで環境設定の移行作業が必要です。

3　データのコンバート

既に弥生販売をご使用の場合は、旧製品のデータを弥生販売 17 にコンバート(変換)することで引き続き使用することができます。
コンバート後のデータは新しいデータとして保存されます。コンバート前のデータが消去されたり内容が変更されたりすることはありません。

メモ

コンバートにかかる時間について
コンバートを行うデータの容量によって、コンバートにかかる時間が異なります。カウンターが動いている間はコンバート中ですが、データの容量によっては、コンバートの完了画面がすぐに表示されない場合があります。完了画面が表示されるまでお待ちください。

3-1　コンバータの起動

弥生販売のコンバータは、弥生 マイポータルから次の手順で起動します。
デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして[弥生 マイポータル]を起動します。[弥生販売]メニューの[サポートツール]－[コンバータ]をクリックします。

3-2　データのコンバート

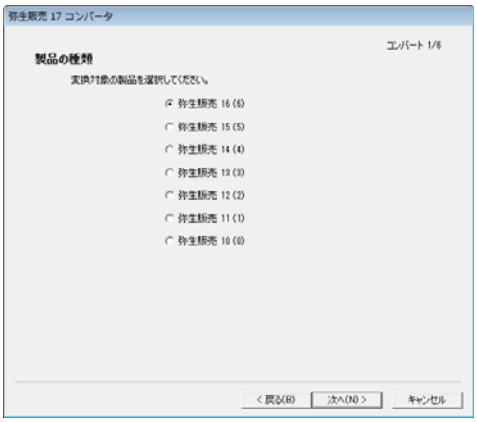
弥生販売 コンバータで、旧製品の事業所データ、帳票レイアウトデータ、環境設定をコンバートします。

☞ データをコンバートする

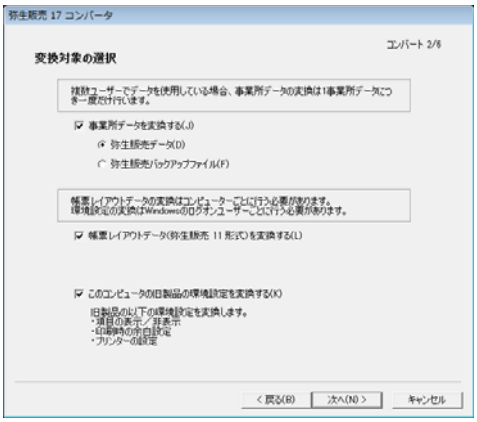
1. **すべてのプログラムを終了します。**
   特に、常駐プログラムが動作している場合、正しくコンバートできないことがあります。
   また、弥生販売が起動しているとコンバートを実行できません。

2. 弥生販売 17 コンバータを起動します(P79)。

3. コンバート対象となる弥生販売製品を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



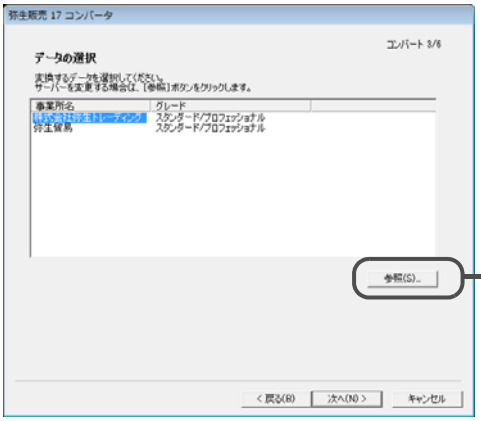
4. コンバートする事業所データの種類を「弥生販売データ」または「弥生販売バックアップファイル」から選択します。



5. コンバートする事業所データを選択します。

＜[弥生販売データ]を選択した場合＞

コンバートする事業所データを一覧から選択します。目的のデータが表示されない場合は、[参照]ボタンをクリックして、データが保存されているサーバーを選択します。



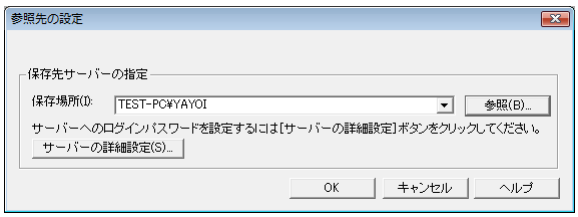
データベースに接続して事業所データを表示します。
→次のメモを参照

メモ

初めて事業所データをコンバートする場合

初めて事業所データをコンバートする場合には、事業所データとデータベースの接続設定を行う必要があります。[サーバーの詳細設定]ボタンをクリックして、[サーバーの詳細設定]ダイアログにて、データベースの sa パスワードを設定してください。

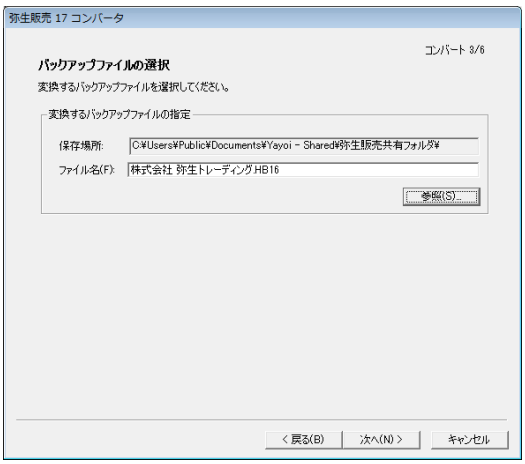
→ログインパスワード(sa パスワード)の設定(P67)



＜[弥生販売バックアップファイル]を選択した場合＞

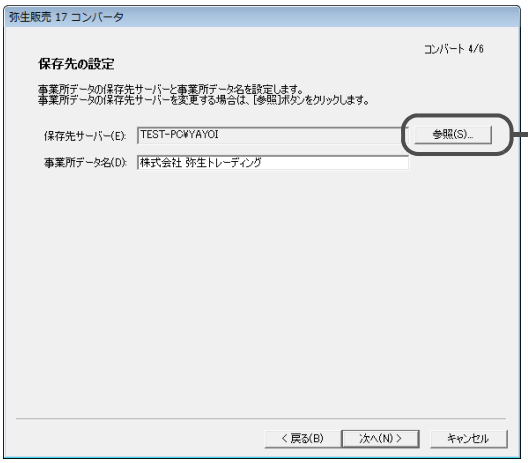
[参照]ボタンをクリックして、コンバートするバックアップファイルを選択します。

バックアップファイルの保存場所がわからない場合は、Windows の検索機能を使用して探してください。または、バックアップファイルを再度作成してください。



6. コンバート後のデータの保存先サーバーと事業所データ名を設定します。
[参照]ボタンをクリックして、事業所データの保存先を選択します。

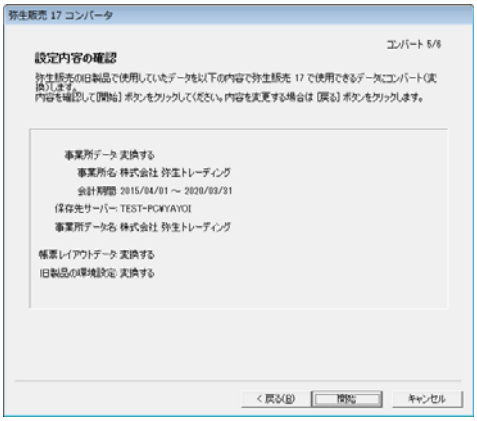
保存先の選択方法については、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)を参照してください。



事業所データの保存先を選択してください。
→ログインパスワード(sa パスワード)の設定(P67)

7. 設定内容を確認し、問題がなければ[開始]ボタンをクリックします。

修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。



8. コンバートの完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

メモ

エラーメッセージが表示された場合

- 「サーバーにアクセスできませんでした。」
  このメッセージが表示された場合は、保存先サーバー名が正しいかを確認してください。正しい保存先サーバー名を入力している場合は『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。
- 「既に同じ名前の事業所データが存在します。」
  このメッセージが表示された場合は『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。

4　帳票レイアウトデータのコンバート

旧製品で使用していた帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)を弥生販売 17 にコンバート(変換)します。
コンバート後のデータは新しいデータとして保存されます。コンバート前の帳票レイアウトデータが消去されたり内容が変更されたりすることはありません。

注意

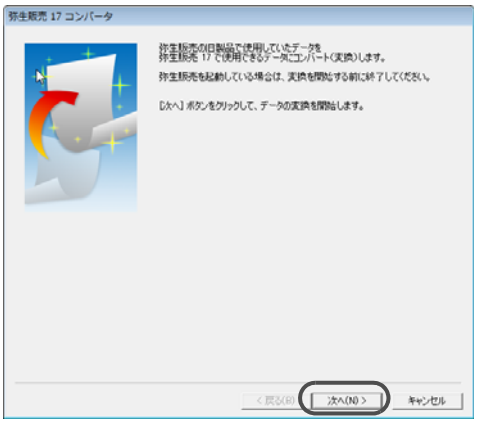
バックアップファイルではコンバートできません

帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)のバックアップファイルではコンバートすることはできません。

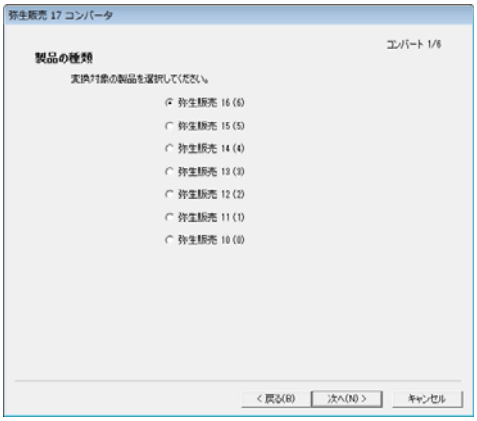
☞ 帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)をコンバートする

1. **すべてのプログラムを終了します。**
   特に、常駐プログラムが動作している場合、正しくコンバートできないことがあります。
   また、帳票レイアウタ(弥生販売 11 形式)が起動しているとコンバートを実行できません。

2. **弥生販売 17 コンバータを起動します(P79)。**



3. コンバート対象となる弥生販売製品を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

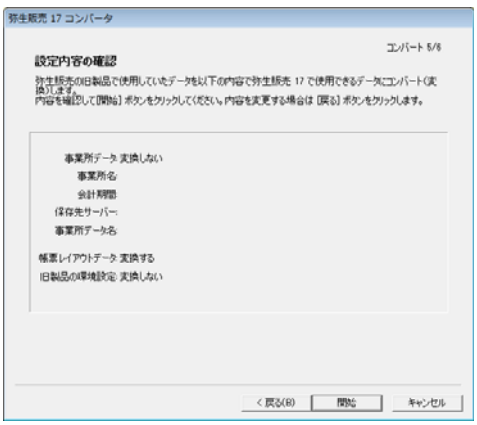


4. [帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)を変換する]にチェックを付けます。

[事業所データを変換する]、[このコンピューターの旧製品の環境設定を変換する]のチェックを外します。

5. 設定内容を確認し、問題がなければ[開始]ボタンをクリックします。

設定内容を修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックします。



6. コンバートの完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

5　環境設定のコンバート

機能設定や印刷での設定などを弥生販売 17 にコンバート(変換)します。
旧製品での設定内容を弥生販売 17 に移行することができます。

5-1　環境設定のコンバート

旧製品の環境設定を、同じコンピューター内で移行する場合と、別のコンピューターへ移行する場合で、コンバートの手順が異なります。それぞれの手順について説明します。

メモ

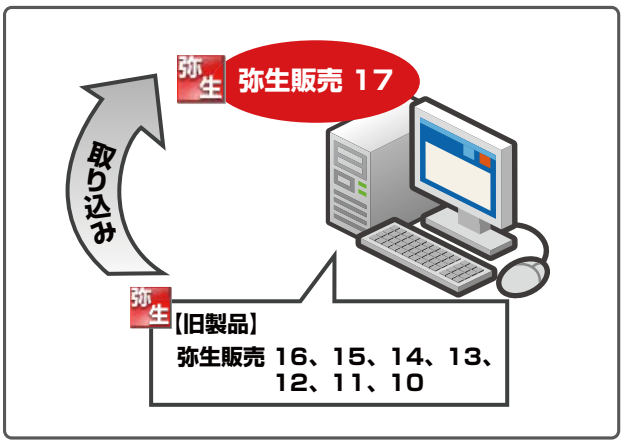
弥生販売 17 の環境設定を移行する場合
次の弥生販売 17 製品の環境設定を移行することもできます。
- 弥生販売 17 ネットワーク
- 弥生販売 17 プロフェッショナル
- 弥生販売 17 スタンダード

弥生販売 17 製品の環境設定を移行する場合は、別のコンピューターに移行する場合のみコンバートを行います。同じコンピューター内では環境設定のコンバートは必要ありません。

同じコンピューター内での移行

弥生販売 17 がインストールされているコンピューター内の旧製品の環境設定を移行します。例えば、今まで旧製品の弥生販売を使用していたコンピューターに、新たに弥生販売 17 をインストールして使用する場合などにこのコンバート機能を使用します。
環境設定を移行するには、弥生販売 17 を起動して旧製品から環境設定を取り込む操作を行います。

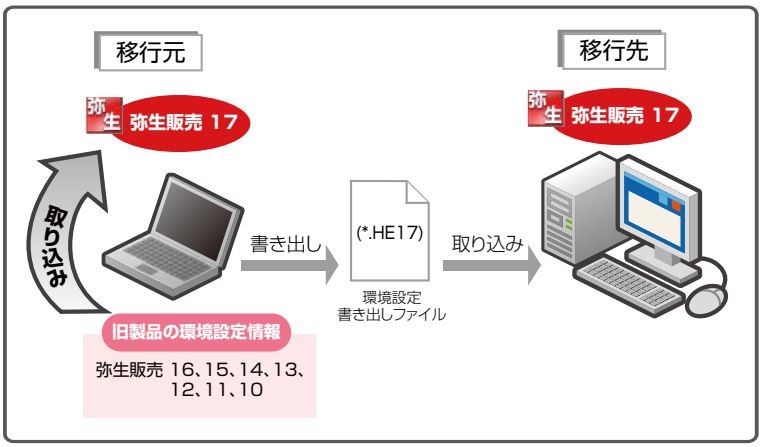
1. 「環境設定を取り込む」手順を行います(P89)。



別のコンピューターへ移行

現在使用しているコンピューターから別のコンピューターへ環境設定を移行します。例えば、コンピューターの買い換えなどにより、弥生販売を他のコンピューターで使用する場合などにこのコンバート機能を使用します。
環境設定を移行するには、まず、今まで使用していたコンピューターで弥生販売 17 に環境設定をコンバートします。次に、コンバートした環境設定をファイルへ書き出して、書き出した環境設定のファイルを新しいコンピューターに取り込みます。

1. 移行元/移行先のコンピューターに弥生販売 17 をインストールします(P40)。
2. 移行元のコンピューターで旧製品の環境設定を弥生販売 17 に取り込みます(P89)。
3. 移動元のコンピューターで環境設定をファイルに書き出します(P88)。
4. 移動先のコンピューターで環境設定を取り込みます(P89)。



☞ 環境設定をファイルへ書き出す

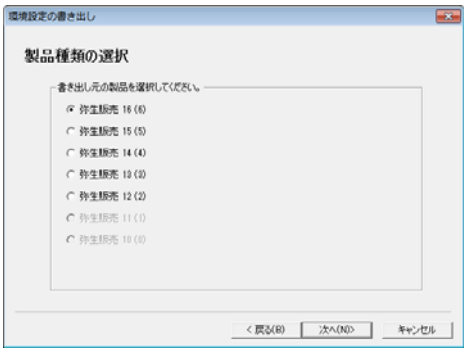
1. 旧製品の弥生販売を終了します。
   旧製品の弥生販売が起動しているとコンバートを実行できません。

2. [環境設定の書き出し]を起動します。
   1. 弥生販売を起動します(P46)。
   2. [ツール]メニューから[環境設定コンバート]－[環境設定書き出し]をクリックします。
      [環境設定の書き出し]が起動します。
      書き出し対象を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

3. 環境設定を書き出す製品の種類を選択します。

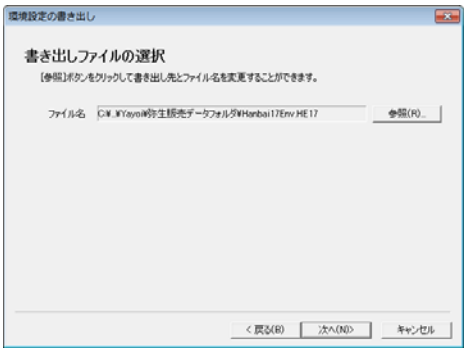
   <手順 2 で[弥生販売 17 の設定を書き出す]を選択した場合>
   手順 4 へ進んでください。

   <[このコンピューターの旧製品の設定を書き出す]を選択した場合>
   書き出し元の製品を選択し、[次へ]をクリックします。



4. [参照]ボタンをクリックして、設定ファイルの保存先を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

別のコンピューターに設定ファイルを移行する場合は、保存先に USB メモリなどを選択してください。



5. [開始]ボタンをクリックして、環境設定の書き出しを実行します。

修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。

6. 環境設定の書き出し完了の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

☞ 環境設定を取り込む

1. 旧製品の弥生販売を終了します。

旧製品の弥生販売が起動しているとコンバートを実行できません。

2. 弥生販売 17 を起動します(P46)。

3. [ツール]メニューから[環境設定コンバート]－[環境設定取り込み]をクリックします。

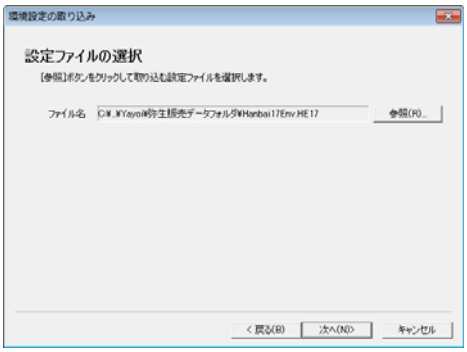
[環境設定の取り込み]が起動します。

4. 取り込み方法を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

5. 取り込むデータを選択します。

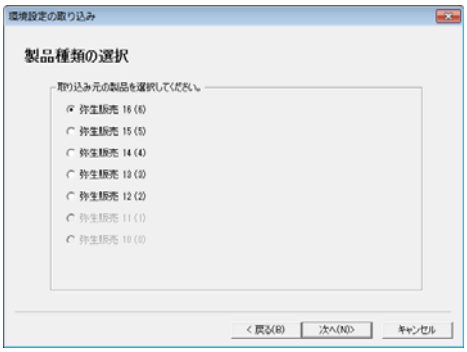
＜[書き出された設定ファイルを取り込む]を選択した場合＞

取り込む設定ファイルを選択します。
[参照]ボタンをクリックして、設定ファイルが保存されているフォルダーを選択します。
別のコンピューターで書き出した設定ファイルを取り込むには、P89 の手順 4 で保存した USB メモリなどを選択してください。

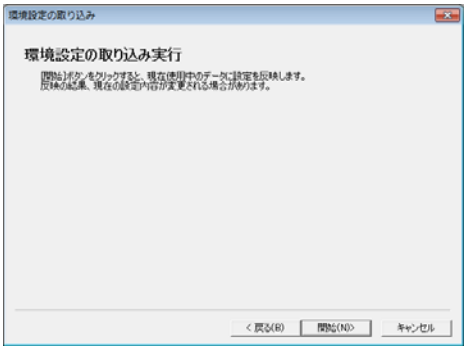


＜[このコンピューターの旧製品の設定を取り込む]を選択した場合＞

取り込む製品を選択し、[次へ]をクリックします。
次の画面で取り込むデータの確認をします。



6. **[開始]ボタンをクリックして、環境設定の取り込みを実行します。**
   修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。



7. **環境設定の取り込み完了の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。**

5-2　複数ユーザーでの使用

環境設定の設定内容は、Windows のログオンユーザーと弥生販売のユーザー名ごとに異なります。そのため、弥生販売を複数のユーザーで使用している場合は、環境設定の移行の際に次のことを確認してください。

Windows のログオンユーザー

弥生販売の環境設定の内容は、Windows のログオンユーザーごとに異なります。1 台のコンピューターで、複数の Windows ログオンユーザーで使用している場合は、ログオンユーザーごとに環境設定の取り込みが必要です。

＜複数のログオンユーザーで使用しているかどうかがわからない場合＞

コンピューターを起動する時に、ユーザーの選択やユーザー名の入力を行っていない場合は、複数のログオンユーザーで使用していません。

弥生販売のユーザー名

弥生販売の環境設定の内容は、弥生販売のユーザー名ごとに異なります。
弥生販売のユーザー管理機能を使用して、複数のユーザー名を設定している場合は、ユーザー名ごとに環境設定の取り込みが必要です。

6　データコンバート後の設定と確認
<ネットワーク / プロフェッショナルのみ>

弥生販売 17 ネットワーク / プロフェッショナルには、スタンダードにはない機能があります。スタンダードから事業所データをコンバートした場合は、以下の点について確認してください。

[1]伝票の承認
売上伝票、入金伝票、仕入伝票、出金伝票に承認機能があります。 承認機能を使用する場合は、コンバート後に次の手順で設定が必要になります。 1. 承認機能を設定する 2. 承認機能に関するユーザー設定をする →承認機能の設定→ヘルプの「伝票の承認処理」
[2]受注からの発注伝票の一括作成
登録済み受注伝票の明細を基に、発注伝票を一括で自動作成することができます。 一括作成を行うには、コンバート後に次の設定が必要になります。 • 受注伝票の明細で一括作成の対象の設定をする →受注からの発注伝票一括作成→ヘルプの「仕入」
[3]ユーザーのログ表示
ユーザーのログイン、ログアウトの状況や操作の記録(ユーザー操作ログ)、データ更新の記録(データ更新ログ)を確認できます。 この機能を使用するには、コンバート後に、ログ管理の対象にするかどうかの設定をする必要があります。 →ログ管理対象を設定する→ヘルプの「基本情報の設定」
[4]倉庫と在庫の設定
複数の倉庫の在庫を管理できます。 コンバート時に、商品の在庫は「共通倉庫(初期設定の倉庫)」に移行されます。複数の倉庫で在庫を管理する場合は、コンバート後に次の手順で倉庫ごとの在庫を登録する必要があります。 1. 倉庫台帳に倉庫を登録する →倉庫台帳→ヘルプの「台帳の登録」 2. 倉庫移動伝票で、共通倉庫から各倉庫に在庫を移動する →倉庫間の在庫移動→ヘルプの「在庫と生産」 倉庫ごとの在庫を登録する前に、必要に応じて弥生販売の在庫数と実際の在庫数が一致していることを確認してください。
[5]他のソフトウェアなどと連携している場合
台帳や伝票に項目が追加されます。 エクスポート、インポートの機能を使用して他のソフトウェアなどと連携している場合は、弥生販売 17 の項目を確認し、必要に応じて連携しているソフトウェアなどの設定を変更してください。エクスポート、インポートの項目は、「ツールとマニュアル」フォルダーの「インポート／エクスポート項目一覧」を参照してください。「ツールとマニュアル」フォルダーは、次の手順で表示します。 デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして[弥生 マイポータル]を起動します。 [弥生販売]メニューの[サポートツール]－[ツールとマニュアル]をクリックします。 また、テキスト書き出し(エクスポート)やテキスト読み込み(インポート)の操作については、ヘルプ「データの受け渡し」を参照してください。

[6] 分類の拡充
商品分類、得意先分類、仕入先分類がそれぞれ 5 種類に拡充されます。 コンバート後、必要に応じて分類を追加してください。 →分類台帳→ヘルプの「台帳の登録」
[7] 入金の消し込み
[入金伝票] ウィンドウの「消込部」には、消し込みをしていないすべての伝票が表示されます。 過去の取引を表示させない場合は、コンバート後に得意先元帳で過去の伝票の消し込みをしてください。 →入金伝票の作成／得意先元帳→ヘルプの「売上」
[8] 伝票データの送受信
登録した受注伝票、売上伝票のデータをメールで送信することができます。 コンバート後、必要に応じてご利用ください。 →伝票データの送受信→ヘルプの「伝票データの送信」

7

やよいの見積・納品・請求書からの移行

やよいの見積・納品・請求書データの一部を、弥生販売に移行することで引き続き使用することができます。

この章では、やよいの見積・納品・請求書データを移行する手順について説明します。

1 移行の対象 …… 96
2 やよいの見積・納品・請求書データの移行 …… 98
3 対応付け一覧 …… 108

1　移行の対象

1-1　移行対象製品

やよいの見積･納品･請求書データの一部を､弥生販売 17 に移行できます。
弥生販売 17 に移行できるファイルの種類と拡張子は次のとおりです。

ファイルの種類		拡張子
事業所データ	やよいの見積･納品･請求書 13 事業所データ	.SD13
	やよいの見積･納品･請求書 14 事業所データ	.SD14
	やよいの見積･納品･請求書 15 事業所データ	.SD15
	やよいの見積･納品･請求書 16 事業所データ	.SD16
	やよいの見積･納品･請求書 17 事業所データ	.SD17
バックアップデータ	やよいの見積･納品･請求書 13 バックアップデータ	.SB13
	やよいの見積･納品･請求書 14 バックアップデータ	.SB14
	やよいの見積･納品･請求書 15 バックアップデータ	.SB15
	やよいの見積･納品･請求書 16 バックアップデータ	.SB16
	やよいの見積･納品･請求書 17 バックアップデータ	.SB17

1-2　対象となるデータ

移行の対象となるデータは以下のとおりです。

- 自社情報
- 得意先台帳
- 商品台帳

メモ

自社情報の内容について

やよいの見積･納品･請求書データから弥生販売に移行される自社情報には､以下の内容が含まれます。

- 自社名
- 自社郵便番号
- 自社住所 1
- 自社住所 2
- 自社 TEL
- 自社 FAX
- 帳票作成オプション - 年表示
- 帳票作成オプション - 基本端数処理
- 帳票作成オプション - 消費税計算端数処理

注意

バックアップファイルから移行する場合

バックアップファイルから移行する場合は、次のことに注意してください。

- やよいの見積･納品･請求書で最新の事業所データのバックアップファイルを作成します。
- 移行を行う最新のバックアップファイルの保存場所を確認しておきます。
- バックアップファイルを USB メモリなどの外部メディアに保存している場合は、対象となるメディアをあらかじめコンピューターにセットしてください。

データの変更について

やよいの見積･納品･請求書データを弥生販売に移行する際、データ形式の違いにより一部のデータが自動で変更される場合があります。
変更される項目があるかどうかについては、移行時にあらかじめ確認することができます。
移行時の確認の詳細については「やよいの見積･納品･請求書データの移行手順」(P98)を参照してください。
自動で変更される項目についての詳細は「対応付け一覧」(P108)を参照してください。

2　やよいの見積・納品・請求書データの移行

やよいの見積･納品･請求書データの一部を、弥生販売に移行することで引き続き使用することができます。
移行したデータは弥生販売の新規事業所データとして保存されます。

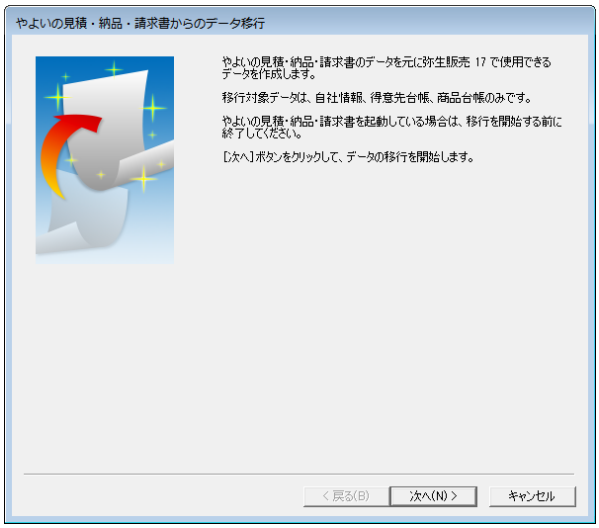
2-1　やよいの見積・納品・請求書データの移行手順

やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行手順は以下のとおりです。

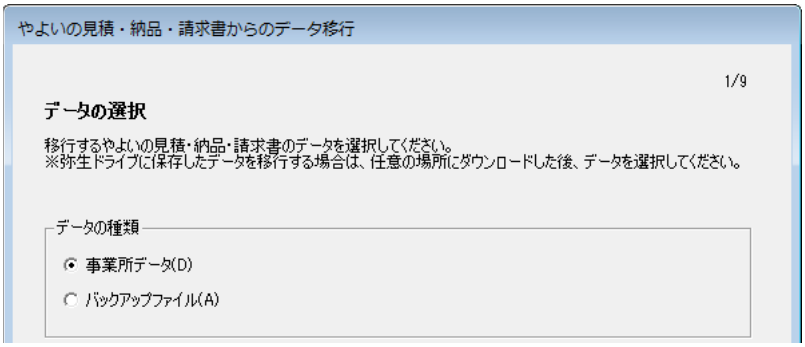
☞ やよいの見積・納品・請求書データを移行する

1. **すべてのプログラムを終了します。**
   特に、常駐プログラムが動作している場合、正しく移行できないことがあります。
   また、以下の製品が起動していると［やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行］ウィザードを起動できません。
   - 弥生販売 17
   - 弥生販売 17 コンバータ
   - やよいの見積･納品･請求書 13
   - やよいの見積･納品･請求書 14
   - やよいの見積･納品･請求書 15
   - やよいの見積･納品･請求書 16
   - やよいの見積･納品･請求書 17
2. **［やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行］ウィザードを起動します。**
   ［やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行］ウィザードは、「ツールとマニュアル」フォルダーから起動します。「ツールとマニュアル」フォルダーは、次の手順で表示します。
   デスクトップの弥生 マイポータルのアイコンをダブルクリックして［弥生 マイポータル］を起動します。［弥生販売］メニューの［サポートツール］－［ツールとマニュアル］をクリックします。

3. [やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行]ウィザードが表示されるので､[次へ]ボタンをクリックします。



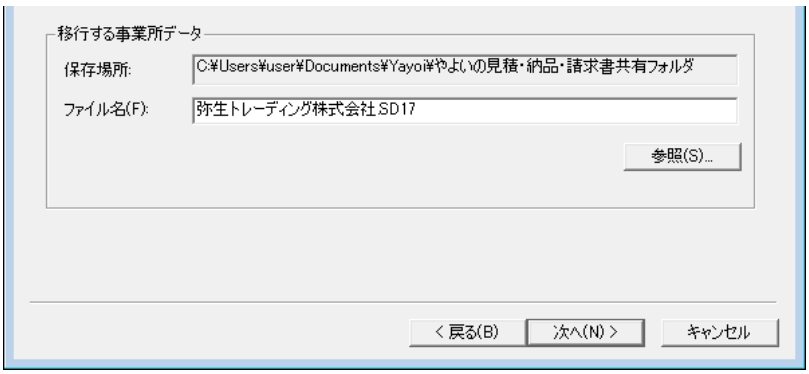
4. 移行するやよいの見積･納品･請求書データの種類を｢事業所データ｣または｢バックアップファイル｣から選択します。



5. 移行するやよいの見積･納品･請求書データを選択し､[次へ]ボタンをクリックします。

＜[事業所データ]の場合＞

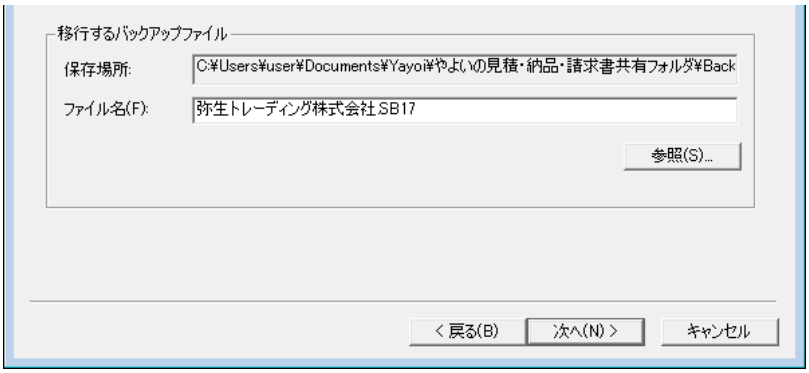
同じコンピューターでやよいの見積･納品･請求書を使用していた場合､最後に使用した事業所データがあらかじめ表示されます。
移行対象の事業所データが表示されていない場合は､[参照]ボタンをクリックして移行対象の事業所データを選択します。



＜[バックアップファイル]の場合＞

[参照]ボタンをクリックして、移行対象のバックアップファイルを選択します。

バックアップファイルの保存場所がわからない場合は、Windows の検索機能を使用して探すか、バックアップファイルを再度作成してください。



6. 移行するデータのチェックを行います。

やよいの見積･納品･請求書データを弥生販売に移行する際、データ形式の違いにより一部のデータが自動で変更される場合があります。

データの変更が発生するかどうかは、[次へ]ボタンをクリックして確認することができます。

クリックすると、データの変更についての説明がヘルプで表示されます。

メモ

データのチェックにかかる時間について

移行を行うデータの容量によっては、チェック処理に時間がかかる場合があります。

チェック結果画面が表示されるまでお待ちください。

---

7. 移行するデータのチェック結果が表示されます。

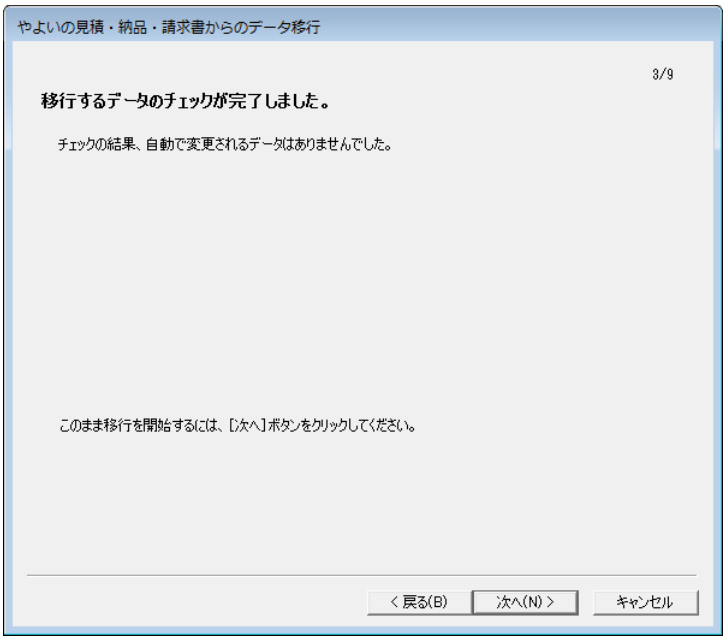
＜データの変更が発生する場合＞

移行時に発生する変更件数が表示され、同時にデスクトップにチェック結果のファイルが書き出されます。
[結果を表示する]ボタンをクリックすると、デスクトップに書き出されたチェック結果が表示されます。
チェック結果を確認し、やよいの見積･納品･請求書でデータを修正してから再度移行を行う場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてウィザードを終了してください。
弥生販売へ移行後データを修正する場合は、[次へ]ボタンをクリックします。

クリックすると、チェック結果のファイル[データチェック - やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行]が表示されます。データの変更内容を確認することができます。

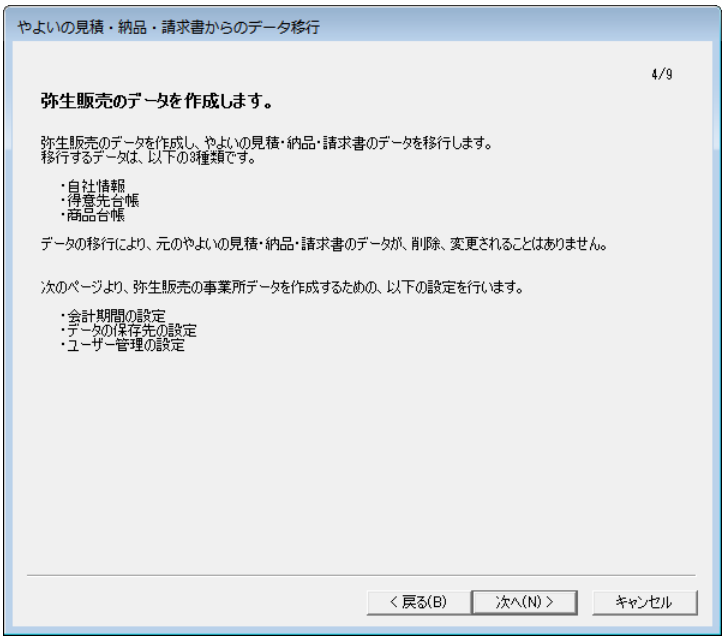
<データの変更が発生しない場合>

[次へ]ボタンをクリックします。



8. やよいの見積・納品・請求書データを移行するための、弥生販売のデータを作成します。

表示される画面の説明を確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



9. 会計期間を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

会計期間は 1 年間です。期首日を指定すると、期末日が自動表示されます。

クリックすると、カレンダーが表示されます。
期首日をカレンダーから入力することもできます。

クリックすると、会計期間についての説明がヘルプで表示されます。

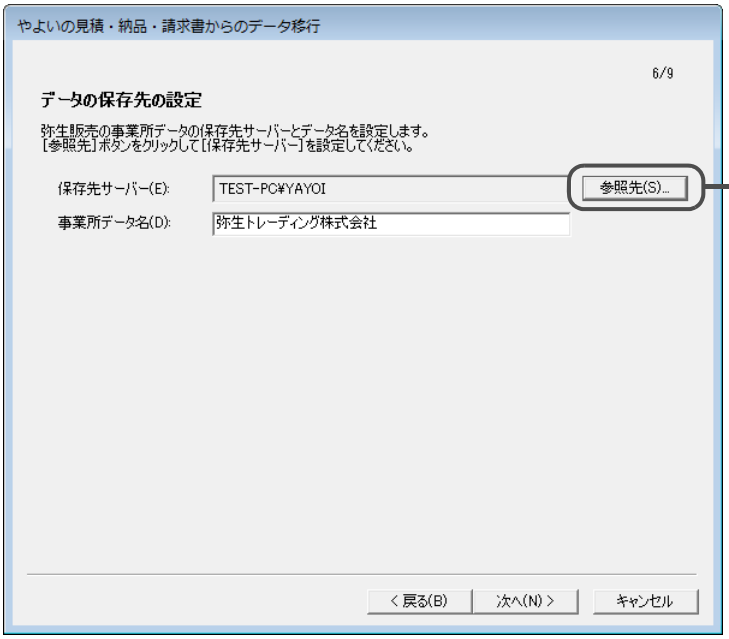
注意

会計期間について

会計期間には、弥生販売の運用期間ではなく、自社の会計期間を指定してください。
弥生販売の事業所データの作成後に会計期間を変更することはできません。[次へ]ボタンをクリックする前に表示される会計期間をご確認ください。

10.データの保存先を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

保存先サーバーを変更する場合や初めてデータベースにアクセスする場合は、[参照先]ボタンをクリックして、保存先サーバーを設定します。



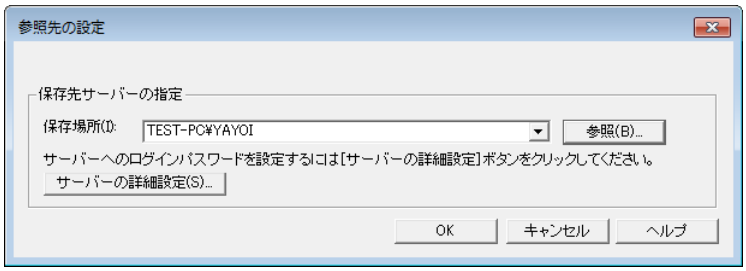
クリックすると[参照先の設定]ダイアログが表示されます。
保存先サーバーを設定します。

メモ

初めて事業所データを作成する場合

初めて事業所データを作成する場合は、データベースの接続設定を行う必要があります。
[サーバーの詳細設定]ボタンをクリックして、[サーバーの詳細設定]ダイアログにて、データベースの sa パスワードを設定してください。

→「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)

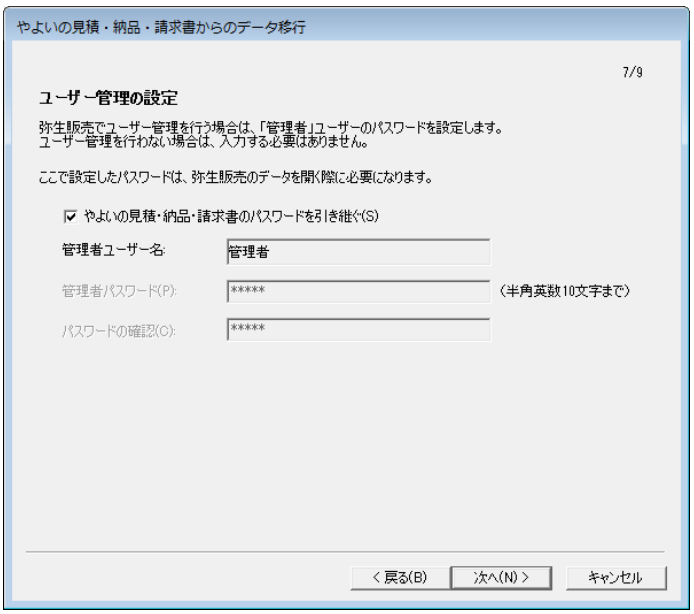


エラーメッセージが表示された場合

「サーバーにアクセスできませんでした。」というメッセージが表示された場合は、『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。

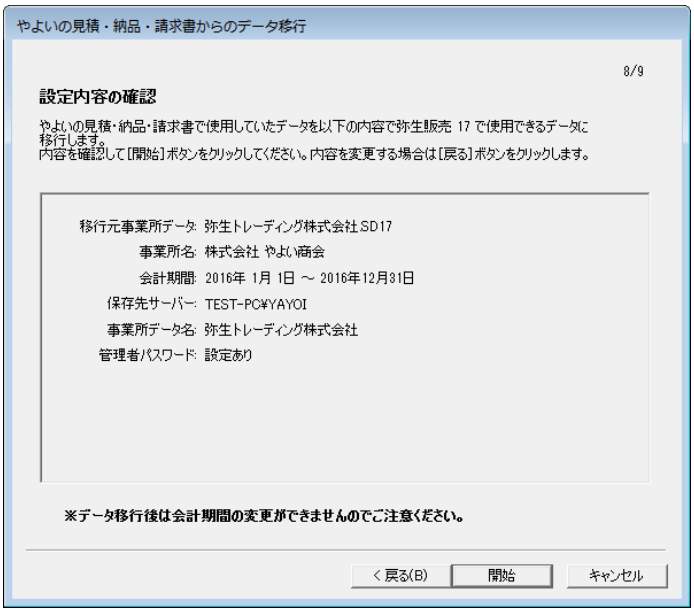
11.ユーザー管理の設定を行い、[次へ]ボタンをクリックします。

必要に応じて[管理者パスワード]を入力します。
やよいの見積･納品･請求書の事業所データにパスワードを設定していた場合は、同じパスワードを管理者パスワードとして引き継ぐことができます。
やよいの見積･納品･請求書の事業所データのパスワードを引き継がない場合は、[やよいの見積･納品･請求書のパスワードを引き継ぐ]のチェックを外してパスワードを入力します。



12.設定内容を確認して[開始]ボタンをクリックします。

[やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行]ウィザードの各画面で設定した内容が表示されます。
設定を変更する場合は[戻る]ボタンをクリックして変更する画面まで戻ります。



移行にかかる時間について
移行を行うデータの容量によっては、移行処理に時間がかかる場合があります。
完了画面が表示されるまでお待ちください。

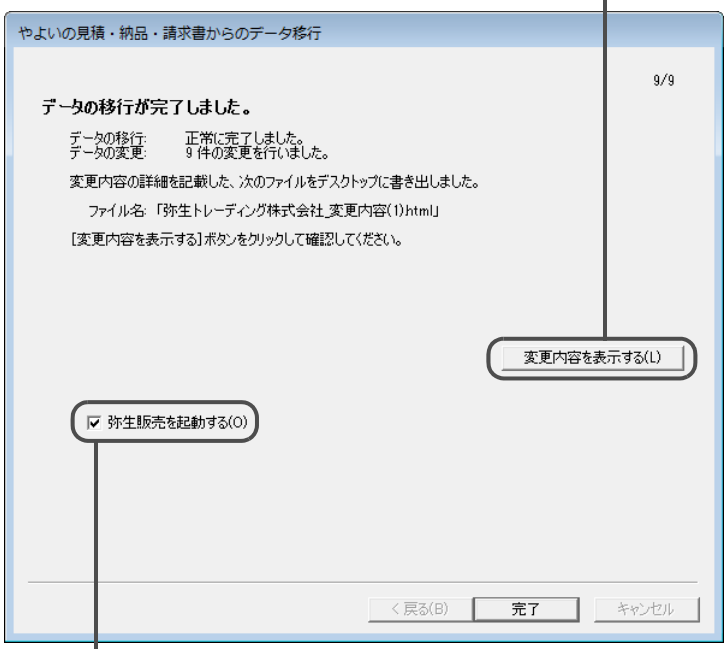
13.完了画面が表示されます。

データの変更の有無によって表示される画面が異なります。

＜データの変更が発生した場合＞

移行時に発生した変更件数が表示され、デスクトップに変更内容の詳細を記載したファイルが書き出されます。
[変更内容を表示する]ボタンをクリックすると、デスクトップに書き出された変更内容が表示されます。
変更内容を確認後、[完了]ボタンをクリックして、[やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行]ウィザードを終了します。
ウィザード終了後に必要に応じて、やよいの見積･納品･請求書でデータを修正して再度移行を行うか、移行後の弥生販売のデータを修正してください。

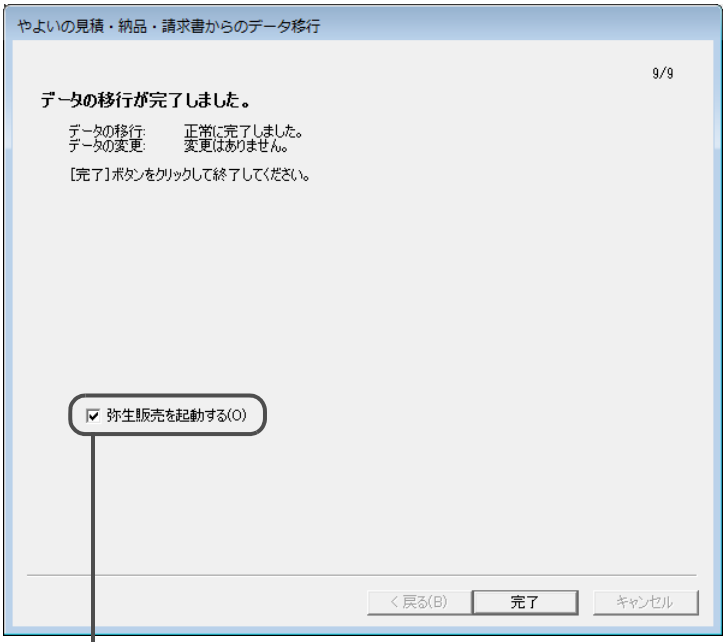
クリックすると、変更内容の詳細を記載したファイル[変更内容 - やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行]が表示されます。



チェックしておくことで、ウィザード終了後に弥生販売を起動して移行後のデータを開くことができます。

＜データの変更が発生しなかった場合＞

[完了]ボタンをクリックして、[やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行]ウィザードを終了します。



チェックしておくことで、ウィザード終了後に弥生販売を起動して移行後のデータを開くことができます。

3　対応付け一覧

やよいの見積･納品･請求書 17 データと弥生販売 17 データの項目の対応付けは、次のとおりです。
それぞれの項目は、やよいの見積･納品･請求書と弥生販売のデータ形式の違いにより、データが自動で変更される場合があります。
変更の詳細については、[やよいの見積･納品･請求書からのデータ移行のヘルプ] を参照してください。

3-1　自社情報

No.	やよいの見積･納品･請求書	弥生販売
	[設定] 項目名	[基本情報] 項目名
1	自社情報 - 自社名	事業所名
2	自社情報 - 自社郵便番号	郵便番号
3	自社情報 - 自社住所 1	住所 1
4	自社情報 - 自社住所 2	住所 2
5	自社情報 - 自社 TEL	TEL
6	自社情報 - 自社 FAX	FAX
7	帳票作成オプション - 年表示	年表示
8	帳票作成オプション - 基本端数処理	基本端数処理
9	帳票作成オプション - 消費税計算端数処理	単価等の内外変換時端数処理

No.	やよいの見積･納品･請求書	弥生販売
	[設定] 項目名	[得意先規定値] 項目名
1	帳票作成オプション - 基本端数処理	税端数処理
2	帳票作成オプション - 消費税計算端数処理	金額端数処理

3-2　得意先台帳

No.	やよいの見積･納品･請求書	弥生販売
	［得意先台帳］項目名	［得意先台帳］項目名
1	得意先コード	コード
2	得意先名	名称
3	得意先名カナ	フリガナ
4	郵便番号	郵便番号
5	住所 1	住所 1
6	住所 2	住所 2
7	部署	部署名
8	役職	役職名
9	担当者	ご担当者
10	敬称	敬称
11	TEL	TEL
12	FAX	FAX
13	メモ	メモ欄

3-3　商品台帳

No.	やよいの見積･納品･請求書	弥生販売
	［商品台帳］項目名	［商品台帳］項目名
1	商品コード	コード
2	商品名	名称
3	商品名カナ	フリガナ
4	単位	単位
5	課税区分	課税
6	メモ	メモ欄
7	税抜単価	税抜上代
8	税込単価	税込上代

8

プログラムの修復と削除

弥生販売のプログラムの修復と削除について説明します。

1 弥生販売の修復と削除 …… 112

1　弥生販売の修復と削除

1-1　弥生販売の修復

弥生販売の動作が不安定になった場合などは、次の手順で弥生販売を再インストールして修復することができます。一括バックアップツールや弥生 ライセンス認証管理も同様の手順で修復できます。
修復を行うことで事業所データが削除されることはありません。プログラムの修復後、そのままご利用いただけます。

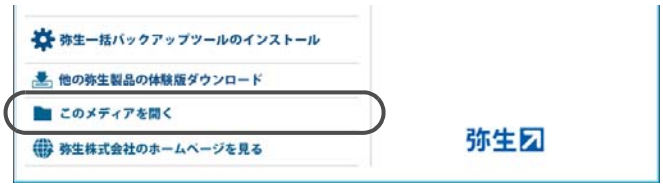
メモ
弥生販売の事業所データは修復されません
弥生販売のプログラムの修復では、作成した事業所データを修復することはできません。

☞ 弥生販売を修復する

1. **起動しているすべてのプログラムを終了します。**
   特に、常駐プログラムが動作していると、正しく修復できないことがあります。

2. **DVD-ROM ドライブに弥生販売 17 の DVD-ROM をセットします。**
   [弥生 17 シリーズ インストールランチャー]が表示されます。

3. **[このメディアを開く]ボタンをクリックします。**



4. 「YHanbai」－「Hanbai」をダブルクリックします。

「Hanbai」フォルダーが表示されます。
次のツールを修復する場合は、「YHanbai」－「Hanbai」ではなく、各ツールのフォルダーをダブルクリックしてください。

- 一括バックアップツールを修復する場合
  「BackupTool」をダブルクリックしてください。
- 弥生 ライセンス認証管理を修復する場合
  「YNinsyo」をダブルクリックしてください。

5. 「Setup」をダブルクリックします。

6. 「ようこそ」画面が表示されるので、[次へ] ボタンをクリックします。

7. [修復] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

削除を選択すると弥生販売の削除を行うことができます。

8. 修復の確認画面で、[インストール] ボタンをクリックします。

9. 弥生販売の修復が完了したらウィザードの完了画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

10. DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出します。

1-2 弥生販売の削除

弥生販売や一括バックアップツール、弥生 ライセンス認証管理をハードディスクから削除する場合は、次の手順で行います。
なお、弥生 ライセンス認証管理は、他の弥生製品がインストールされていると削除できません。削除する場合は、他にインストールされている弥生製品が無いことを確認した上で行ってください。また、弥生 ライセンス認証管理を削除すると弥生 ネットワーク設定、弥生ドライブ、弥生 マイポータルも併せて削除されます。

注意

弥生販売を削除する前の注意

弥生販売を削除する前に、必ずライセンス認証の解除を行ってください。
ライセンス認証の解除を行う前に弥生販売を削除すると、別のコンピューターで弥生販売を使用できなくなります。弥生販売を別のコンピューターにインストールする場合や、お使いのコンピューターを廃棄する場合、コンピューターをフォーマットする場合は、必ずライセンス認証の解除を行った後、弥生販売を削除してください。

→ライセンス認証の解除(P52)

メモ

弥生販売の事業所データは削除されません

事業所データの削除については、弥生販売のプログラムを削除する前にヘルプを参照してください。

弥生販売を削除する

1. **弥生販売を削除する場合は、ライセンス認証を解除します(P52)。**
   一括バックアップツールのみを削除する場合、ライセンス認証の解除は必要ありません。

2. **起動しているすべてのプログラムを終了します。**

3. **コントロールパネルを表示します。**
   Windows 10/8.1 の場合:[スタート]ボタンからすべてのアプリを表示して、[Windows システム ツール]－[コントロール パネル]をクリックします。
   Windows 7/Vista の場合:[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]をクリックします。

4. **[プログラムのアンインストール]をクリックします。**

5. 表示されるプログラムの一覧から[弥生販売 17]を選択します。

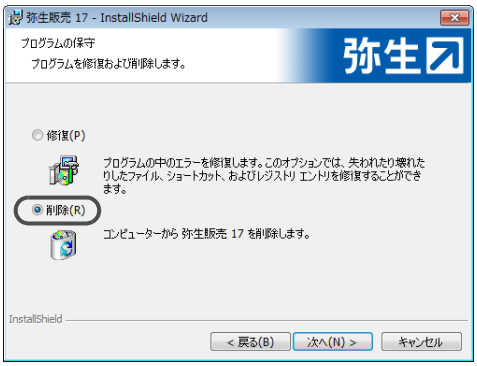
次のツールを削除する場合は、[弥生販売 17]ではなく、各ツールを選択してください。

- 一括バックアップツールを削除する場合
  [弥生一括バックアップツール]を選択します。
- 弥生 ライセンス認証管理を削除する場合
  [弥生 ライセンス認証管理]を選択します。

6. [変更]ボタンをクリックします。

7. 「ようこそ」画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックします。

8. [削除]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。



9. 削除の確認画面で、[削除]ボタンをクリックします。

10.完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

メモ

弥生販売を DVD-ROM を使用して削除する

弥生販売の削除をコントロールパネルから行えない場合は、弥生販売 17 の DVD-ROM を使用して行うことができます。
DVD-ROM を使用して削除する場合は、ライセンス認証を解除してから(P52)、「弥生販売を修復する」(P112)の手順に従って弥生販売のインストーラーを実行し、手順 7 で[修復]ではなく[削除]を選択して処理を続行します。

弥生販売 17 ネットワーク
弥生販売 17 プロフェッショナル
(5 ユーザー/2 ユーザー)
インストール・コンバートマニュアル

・初　版　2016 年 8 月 25 日
・発行所　弥生株式会社
〒 101-0021
東京都千代田区外神田 4 丁目 14 番 1 号
秋葉原 UDX21 階
www.yayoi-kk.co.jp

・ご注意　① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

② 本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。

③ 落丁、乱丁はお取り替えいたします。

Copyright © 2016 Yayoi Co., Ltd. All rights reserved.